

平成29年度

「介護実習における介護実習指導者の指導の実態調査」ならびに

「福祉施設実習に関する学生（養成校）の実習の実態調査」

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

— 目次 —

I	調査の概要	1
II	調査結果のまとめ	2
III	調査結果	
	◆介護実習における介護実習指導者の指導の実態調査	
問1	性別	7
問2	所属	7
問3	担当主業務	8
問4	事業所内の実習指導者数	10
問5	実習指導の有無	10
問6	実習者への声掛け	14
問7	質問への回答	15
問8	実習者について他の職員との共有	16
問9	実習評価を職員間で協議	17
問10	実習指導者主催の反省会の実施	18
問11	巡回担当教員とのコミュニケーション	19
問12	実習巡回予定の把握	20
問13	担当教員を交えた反省会・カンファレンス	21
問14	実習指導者講習会はキャリアアップになるか	21
問15	実習指導者講習会は職員教育に役立つか	22
問16	介護の仕事・魅力を伝える	24
問17	実習指導者としての課題や悩み	25
	◆福祉施設実習に関する学生（養成校）の実習の実態調査	
問1	施設実習の経験	27
問2	実習先	28
問3	施設実習後の事後学習	29
問4	施設実習スケジュール（実習予定表）	29
問5	当日の指導担当者	30
問6	指導暗闘者への質問	31
問7	質問への回答	31
問8	実習指導担当者の指導	32

問 9	振返りの時間	3 2
問 1 0	記録のコメントの担当	3 3
問 1 1	記録のコメントは実習内容の的確さ	3 4
問 1 2	実習記録の返却日	3 4
問 1 3	実習中の困ったこと	3 5
問 1 4	実習で望むこと	3 6
問 1 5	実習への心構え	3 6
問 1 6	卒業後の進路	3 7
問 1 7	施設実習に対しての課題や悩み	3 7
IV	調査票	3 8

I 調査の概要

1. 調査の目的

福祉人材の安定的な確保が困難となっており、中でも介護サービス分野は慢性的な人材不足となっており、常に求人募集をしている状況である。

介護人材確保については、福井県でも介護人材確保対策協議会を設置し、介護の職場環境の改善や人材確保・定着促進に係る対策を検討している。

この現状を踏まえ昨年度福祉に関連する資格を取得できる学生を対象「福祉の仕事、職場を目指す学生の意識調査」を実施した。

その結果から特に介護実習において不安や悩みを抱えている学生の存在が明らかとなり、その一部には介護職として就職することを躊躇する様子も見られた。

そこで、今年度は介護職に特化した福祉施設実習について介護実習指導者および養成校学生（介護福祉士取得のために実習が必須）の現状を把握し、調査結果を関係者に周知するとともに当センター実施のセミナー等で活用し、介護人材の定着および確保を図ることを目的に実施。

2. 調査対象者

- ①介護福祉士実習指導者講習会修了者
- ②介護福祉士養成校の学生

3. 調査期間

平成29年10月2日（月）～11月17日（金）

4. 調査方法

- ①郵便調査
- ②訪問調査

5. 回収方法

- ①郵便回収（料金受取人払郵便）
- ②訪問回収

6. 調査票回収状況

- | | |
|-------|----------------|
| ①対象者 | 321名 |
| 有効回収数 | 81件 |
| 回収率 | 25% |
| ②対象者 | 103名（留学生25名含む） |
| 有効回収数 | 98件 |
| 回収率 | 95% |

II 調査結果のまとめ

◆介護福祉士実習指導者

- (1) 介護実習指導者を性別・年齢別にみると女性が全体の80%を占める結果となり、年齢別にみると男性は40歳代が47%と最も高く、次いで30歳代の40%であった。女性は30歳代が39%と最も高く、次いで40歳代の30%であった。
男女合わせては30歳代が40%と最も多く、次いで40歳代の33%であった。
- (2) 所属と担当業務については、老人福祉施設が全体の90%を占める結果となり、担当業務は介護業務が67%、次いで介護支援専門員が15%であった。
- (3) 事業所内には533人の介護福祉士実習指導者講習会修了者がおり、所属は老人福祉施設で99%であった。
- (4) 介護実習に際して介護福祉士養成校学生で困ったことについては、「利用者とのコミュニケーションが少ない」、「質問が無く、やる気を感じない（おとなしく、こちらから声をかけるのをまっている）」、「理解が浅い」などがあげられた。
受け入れ体制では施設については、「実習担当者の役割について体制が整っていないことで勤務等の調整が思うようにいかない」、「業務が多忙で学生にずっとついていけないため、細かな指導ができない」などがあげられた。また、同僚については「指導する職員の力量に差があり、伝え方にばらつきがある。職員のほうが根拠に基づいた指導ができていない」、「実習生の指導は業務をしながらなので不満がでる」、「連絡ミス、確認不足により予定していた内容が実施できなかった」などであった。
- (5) 介護福祉士養成校学生の実習をよりよくするための方法としては、「施設全体で学生を受入る理解とプログラム、対応策を整え指導職員のレベルアップが必要」、「受入を学べる研修をしてほしい」、「施設として受入体制が整っておらず、実習生が実習できる環境等の整備など施設側の理解が足りない」などであった。学生への要望としては「実習前に施設見学やボランティアを体験が必要」など実際にどのような施設なのか理解を深めておく必要があるであった。
- (6) 実習期間中の実習者への声掛けは「勤務している日のみ声掛けをした」が49%で「声掛けをしない」が全体の5%あった。

(7) 実習者の質問に対して「解決できるような行動をとった」は68%で具体的には「当日の目標を確認し、当日のうちに解決できるように配慮した」、「毎日1対1で話す時間を持ち、疑問や質問等感じていることを聞いている」であった。

また、「解決できるような行動をとらなかった」は4%であった。

(8) 実習生の様子について他の職員と共有しているのは90%であった。その理由としては「指導者だけではなく、様々な視点や職種から気づくことを本人に伝えている」

また、「実習生の達成目標を共有することで達成度を確認し、声掛けにつなげた」「実習指導は正副の2人体制で行っているが、実習指導者が不在時は他の職員も指導に入る」、「他の職員にも実習の様子を確認しながら指導者間で場法の共有を図っている」などであった。

(9) 実習者の課題達成について職員間で協議し、実習評価をしているのは65%で実習評価をしていないのは16%であった。評価をしていない理由（現状）として「指導者同士で話をするが現場の職員との協議は少ない」、「指導者以外が実習に関わることが少ないため」、「皆で話し合う時間がない」であった。

また、実習指導者主催の反省会の開催については「設けていない」が52%、その理由（現状）としては、「最終カンファレンスでコメントを伝えている」、「上司に報告するのみになっている」、「思いもよらなかった」であった。次いで「設けている」は30%であり、その理由（現状）としては、「全員が同じ対応ができるように」、「指導者でチームを組み、マニュアルの作成や検討課題を話し合いその内容は引継ぎにも使用している」であった。

(10) 巡回担当教員とのコミュニケーションはとれているのは64%でその理由（現状）については、「担当教員が指導者の勤務日にあわせてくれる」、「学生の性格等を聞き情報を共有している」などであった。また、とれていないのは12%でその理由としては、「シフトがあわない」、「実習生と先生は話をしているが、指導者にはあまりない」であった。

(11) 実習巡回予定を把握しているのは41%で把握していないのは33%であった。

また、担当教員を交えた反省会・カンファレンスの実施については、実施しているが70%でその理由（現状）としては、「先生を交えて学生が何を感じているのかなど具体的に知ることができる」であった。実施していないのは6%でその理由として「時間がとれなかった」であった。

(1 2) 介護福祉実習指導者講習会は自分自身のキャリアアップになったは 90%でその理由(現状)としては、「自分の指導力の確認、振り返りができた」、「学生に対する見方が変わり将来を担う大切な人材として育てていこうという気持ちになった」、「人材育成という部分で職員に対する視点が変わった」、「業務の見直しになった」、「相手に伝わるように伝えるが意識してできるようになった」、「基本に立ち戻れる」であった。

また、職員教育(新人教育等)に役に立ったは 59%でその理由(現状)としては、「育成の視点や方法などが活かされた」、「指導法やコミュニケーションの取り方等なくに立っている」、「新人教育だけではなく、介護福祉士の実技試験を受ける職員の実技指導に役に立った」などであった。役に立たないは 16%でその理由としては「実習生は目的と目標を重視するが、新人には施設の全てを教えていかなければならないのでどちらともいえない」であった。

(1 3) 実習生に対して介護の仕事の魅力ややりがいを伝えることができたは 46%で選択した理由(現状)としては「自分自身の体験談を話した」、「自分も実習生の経験があるので伝えられることがある」、「利用者、家族から信頼されたときのこと」などであった。

(1 4) 実習指導者としての課題や悩み不安等については、「実習指導者として施設の認識が低い。次の段階のフォローアップ研修を受けたくても受けられない」、「実習指導者以外のケアワーカーを施設側が実習担当者にするので指導者の存在が薄く感じてしまう」、「自分の実習法や実習生の対応を評価する場がない」、「年代や国籍の違いによってさまざまな壁がある」、「実習生は軽く返事はするが実際には体が動かず行動に繋がらない。このギャップを実践にどうつなげていくのが課題」であった。

◆介護福祉士養成校学生

(1) 施設実習の経験(H29.10月現在)

回答者は施設実習の「経験がある」が 91%とほとんどが経験済みであり、「経験なし」と回答した学生も 11月以降の実習の予定が組まれていた。

また、経験ありと回答した学生の実習回数は 3回が 42%と最も多く、学生一人当たりの平均は 2.6回実習を経験していることとなる。

施設実習を種別ごとにみると「老人福祉施設」が 80%と最も多く、次いで「児童福祉施設」の 12%、「障がい者支援施設」の 8%であった。

(2) 施設実習後の事後学習が定例に行われたかの問いには 95%「行われた」であったが、3%は「行われなかった」であった。

また、施設実習スケジュール(実習予定表)の有無については 79%が「あった」で

あったが、21%は「なかった」と回答している。当日の実習指導担当者が「決まっていた」が90%、「決まっていなかった」が9%であった。

「実習中に困ったことがあったか」(自由記述)でも当日の担当者が誰かが分からなく戸惑ったとの記述もある。

実習指導担当者の指導に満足しているかの問いに「満足している」が96%、「満足していない」4%であった。満足していない理由として実習指導担当者が一緒にいることがなく分からないことがあった。「人によって態度が違ったり、質問しても分からないといわれることがあった」であった。

- (3) 実習の記録のコメントは誰からしてほしいかでは「当日の担当者」が72%、次いで「実習指導担当者」が26%であった。

記録のコメントは実習内容についての的確なものだったの問いでは「的確であった」が100%であった。

また、実習記録の返却日については「翌日」が70%、次いで「1週間」が21%、「その他(いつでも可)」が7%であった。

- (4) 実習中に困ったことがあったかの問いには、「職員から教えてもらう支援方法がバラバラで戸惑った」、「実習指導担当者が殆んどいなかった」、「職員同士の連絡調整ができていなかった」、「職員が皆忙しく声をかけにくい」、「実習目標と違うことをやるようになったが言い出せなかった」、「時間帯によって担当職員が変わったが、変わった担当者を知らせてもらえなかった」、「記録のコメントが少なくてどこを直したらよいかわからなかった」、「職員同士の悪口をどう思う?と質問されて困った」、「挨拶をしても返してくれない」、「自分のことで必死で留学生に教える余裕があまりなかった」、「留学生のフォローをしつつ実習記録を書くのは大変。助きたい気持ちはあるが自身の作業がおろそかになってしまうのは困る」であった。

- (5) 実習で望むことについては、「職員の誰もが質問に答えてほしい」、「その日の実習指導担当者を毎朝教えてほしい」、「介助しているときには見守ってほしい」、「介助中に悪いところと良いところを教えてほしい」、「適切な対応の仕方などを教えてほしい」、「利用者の個別ケアについて教えてほしい」、「施設独自の取組を教えてほしい」、「時々声をかけてほしい」、「職員同士の悪口は聞こえないところで言ってほしい」、「利用者の悪口を言わないでほしい」であった。

- (6) 実習での心構えについては、「専門職としての知識や技術を身につける」、「次にやることを予測して行動を考える」、「毎日の目標を達成できるように心がけている。また、前日にできなかったことを次の日に活かせるようにしている」、「自分の思い込みで行

動せずわからないことはすぐに職員に聞くようにする」、「言われたことを素直に受け取り、学ばせてもらうものとして謙虚で積極的に取り組む」であった。

(7) 卒業後は介護の仕事を希望するかの問いには、「希望する」が83%、希望しないは16%であった。希望しない理由として、「保育に進みたいから」「介護は夜勤があるから」「別の仕事に就きたいから」「介護は自分に向いていないから」であった。

(8) 施設実習に対しての悩みや不安等があるかの問いには、「介助中に一人になってしまい不安になる」、「職員によって指導内容に違いがあり記録が進まない日があった」、「実習を日本の学生と一緒にするから比べられる」、「利用者が外国人に介護をされるのは不安なのではないかと感じた」であった。

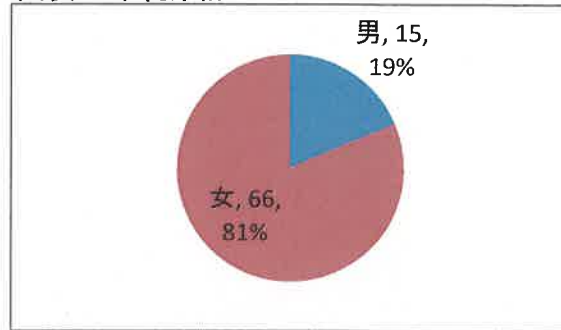
介護実習における介護実習指導者の指導の実態調査

回答:介護福祉士実習指導者

【問1】 あなたの性別および年齢について

男	15	19%
女	66	81%
合計	81	100%

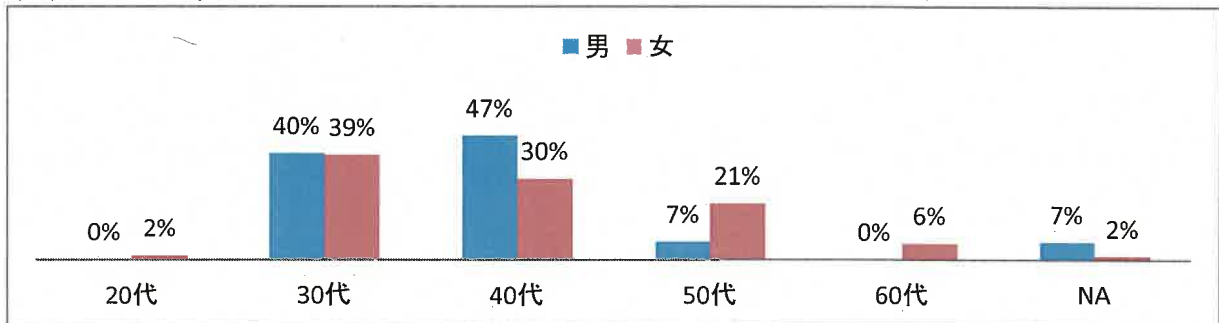
図表1 単純集計



年齢	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
男	0	6	7	1	0	1	15
女	1	26	20	14	4	1	66
合計	1	32	27	15	4	2	81

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
男	0%	40%	47%	7%	0%	7%	100%
女	2%	39%	30%	21%	6%	2%	100%
合計	1%	40%	33%	19%	5%	2%	100%

図表1 クロス集計

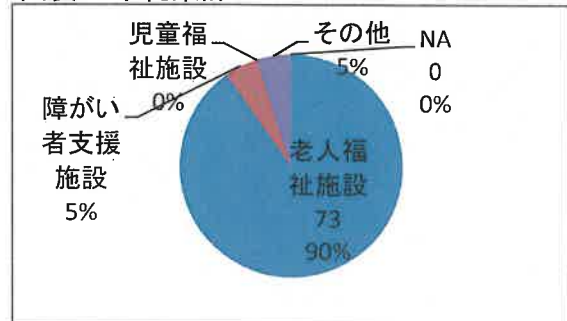


性別については、男性が15人(19%)女性が66人(81%)と女性が回答者全体の80%以上を占める結果となった。年齢別にみると男女合わせて30歳代が40%と最も多く、次いで40歳代の33%、50歳代の19%であった。

【問2】 あなたの所属について

老人福祉施設	73	90%
障がい者支援施設	4	5%
児童福祉施設	0	0%
その他	4	5%
NA	0	0%
合計	81	100%

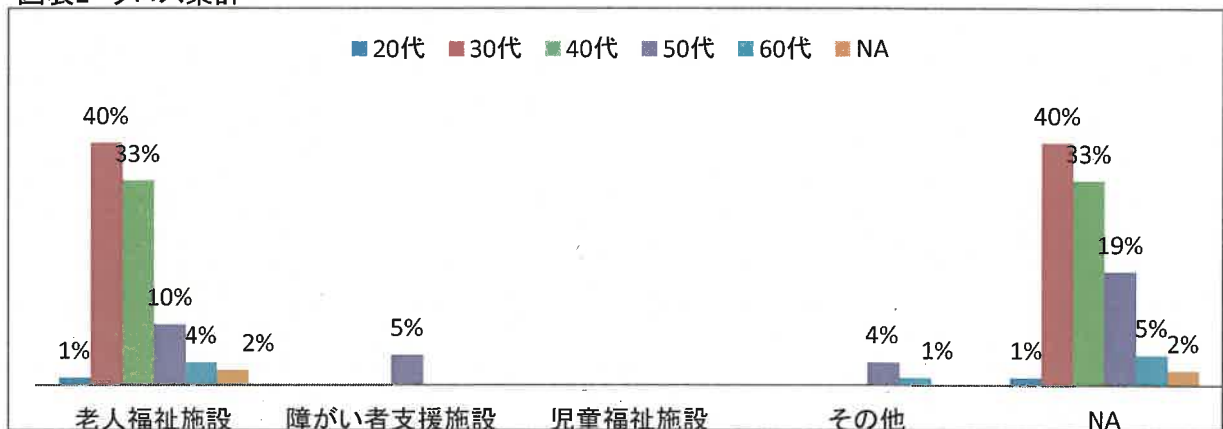
図表2 単純集計



種別	性別	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
老人福祉施設	男		6	7			1	14
	女	1	26	20	8	3	1	59
障がい者支援施設	男							0
	女				4			4
児童福祉施設	男							0
	女							0
その他	男				1			1
	女				2	1		3
NA	男							0
	女							0
合計	男	0	6	7	1	0	1	15
	女	1	26	20	14	4	1	66
	計	1	32	27	15	4	2	81

種別	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
老人福祉施設	1%	40%	33%	10%	4%	2%	90%
障がい者支援施設				5%			5%
児童福祉施設							0%
その他				4%	1%		5%
NA	1%	40%	33%	19%	5%	2%	100%

図表2 クロス集計



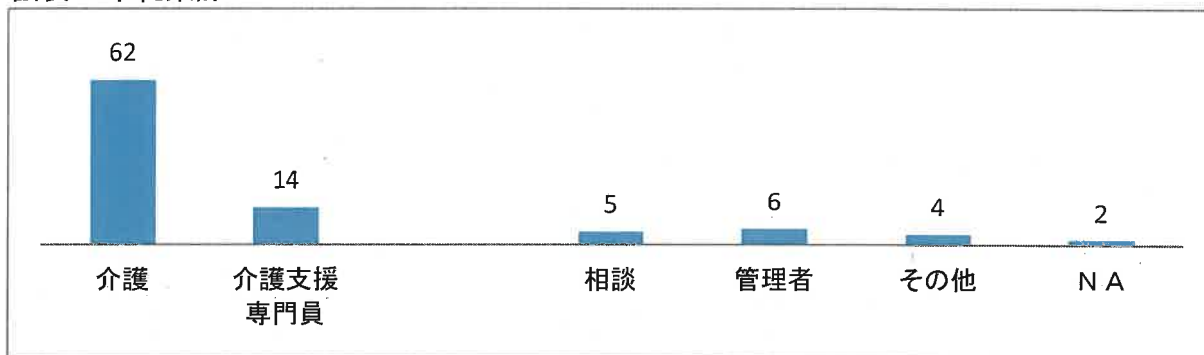
所屬別にみると老人福祉施設が90%、次いで障がい者支援施設が5%であった。
年齢別では男女合わせて30歳代32人(40%)、次いで40歳代27人(33%)、50歳代15人(19%)の順であった。

【問3】 あなたの主業務について (複数回答)

主業務	介護	介護支援 専門員	相談	管理者	その他	NA	合計
	62	14	5	6	4	2	93

主業務	介護	介護支援 専門員	相談	管理者	その他	NA	合計
	67%	15%	5%	6%	4%	2%	100%

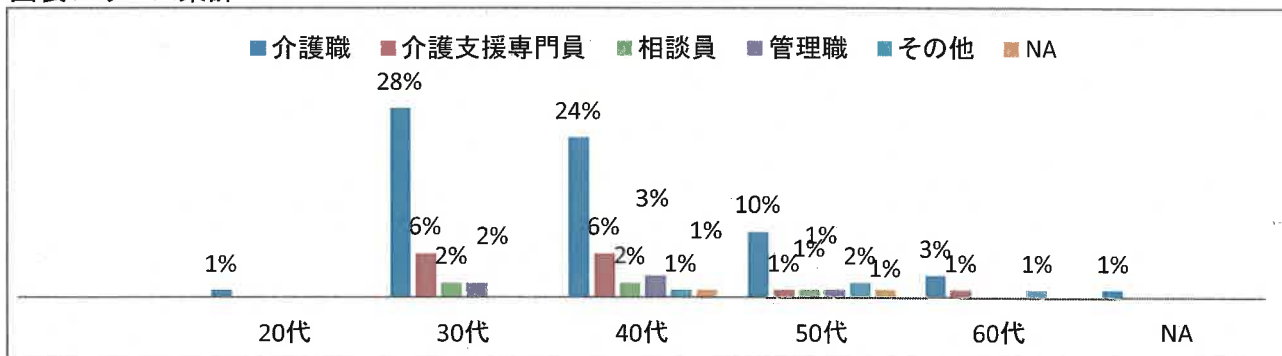
図表3 単純集計



業務	性別	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
介護職	男		4	6	1			11
	女	1	22	16	8	3	1	51
介護支援専門員	男		1					1
	女		5	6	1	1		13
相談員	男		2					2
	女			2	1			3
管理職	男			1				1
	女		2	2	1			5
その他	男			1				1
	女				2	1		3
NA	男							0
	女			1	1			2
合計	男	0	7	8	1	0	0	16
	女	1	29	27	14	5	1	77
	計	1	36	35	15	5	1	93

業務	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
介護職	1%	28%	24%	10%	3%	1%	67%
介護支援専門員		6%	6%	1%	1%		15%
相談員		2%	2%	1%			5%
管理職		2%	3%	1%			6%
その他			1%	2%	1%		4%
NA			1%	1%			2%
合計	1%	39%	38%	16%	5%	1%	100%

図表3 クロス集計

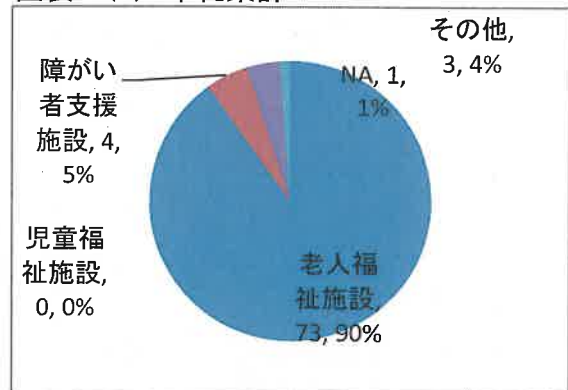


複数回答ではあるが、主な業務は介護業務が62人(67%)、次いで介護支援専門員14人(15%)、管理者6人(6%)の順となった。
年齢別では男女合わせて30歳代36人、40歳代35人、次いで50歳代15人の順であった。

【問4】 あなたの事業所には実習指導者(介護福祉士実習指導者講習会修了者)が何人いますか

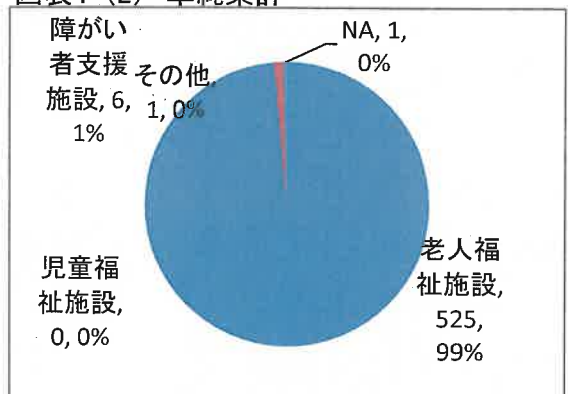
所属	回答者数
老人福祉施設	73
障がい者支援施設	4
児童福祉施設	0
その他	3
NA	1
合計	81

図表4-(1) 単純集計



所属	実習指導者数
老人福祉施設	525
障がい者支援施設	6
児童福祉施設	0
その他	1
NA	1
合計	533

図表4-(2) 単純集計

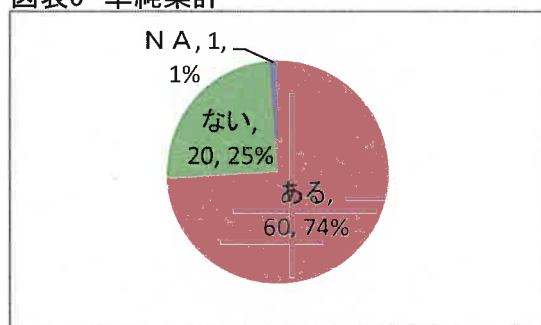


回答者(81人)の事業所には実習指導者数は533人で所属別には老人福祉施設で525人、次いで障がい者支援施設で6人であった。

【問5】 あなたは実習指導をしたことがありますか

実習指導経験	ある	ない	NA	合計
	60	20	1	81

図表5 単純集計

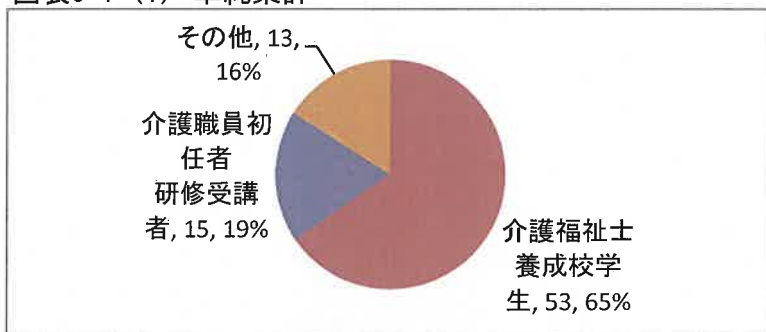


実習指導経験の有無については、指導経験があるは60人(74%)、指導経験が無いは20人(25%)であった。

【問5-1】 「ある」を選択した方はその実習名をお答えください（複数回答）

実習名	介護福祉士養成校学生	介護職員初任者研修受講者	その他	合計
	53	15	13	81

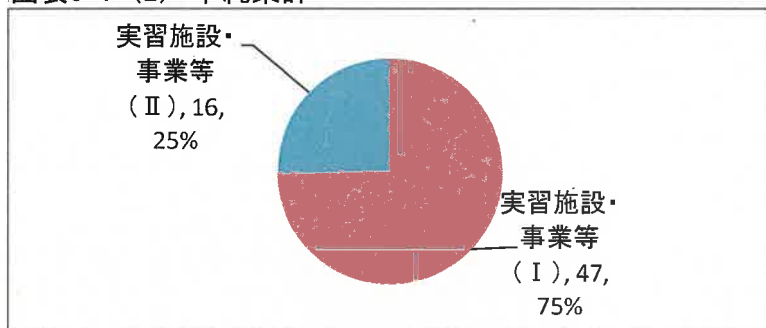
図表5-1-(1) 単純集計



介護福祉士養成校学生の実習指導の場合、担当した区分は何ですか（複数回答）

区分	実習施設・事業等（Ⅰ）	実習施設・事業等（Ⅱ）	合計
	47	16	63

図表5-1-(2) 単純集計



介護福祉士養成校学生が53人、次いで介護職員初任者研修受講者が15人、その他が13人の順となった。また、介護福祉士養成校学生の実習指導区分は（Ⅰ）が47人で最も高く、次いで（Ⅱ）が16人の順であった。

【問5-2】 介護福祉士養成校学生の実習で困ったことは何ですか

- 1 連絡が遅い
- 2 具体的な実習目標を持っていない
- 3 目標達成への組み立てが難しい
- 4 記録が書けない（記録の誤字）時間がかかりすぎる（介護実習Ⅱカンファレンスで発表できていなかった）
- 5 自ら介護の現場で働きたいと思って養成校に入った学生が少なく、意欲や目的が明確に感じない
- 6 実習に対する意欲が感じられない
- 7 介護観や目的が薄い為、何をどのように指導すれば理解してもらえるのか悩む
- 8 指示に従ってくれず自分の考えで行動してしまう
- 9 利用者とのコミュニケーションが少ない
- 10 ルールを守るという事の認識が薄い
- 11 一般常識に欠ける（挨拶、年上に対しての言葉遣い、雑巾の絞り方、お茶の作り方、服のたたみ方等々）
- 12 理解が浅い（伝わらない）
- 13 質問がなく、やる気を感じない（おとなしく、こちらから声をかけるのを待っている）

【問5-3】 介護福祉士養成校学生の受入体制(施設・同僚)で困ったことは何ですか

【施設】

- 1 指導職員のローテーション。実習の目的に添った指導
- 2 勤務体制によって受入時に学生となかなか関われない時がある
- 3 実習担当の役割について体制が整っていない事で勤務等の調整が思うようにいかなかった
- 4 実習指導者がずっとついてあげられないこと
- 9 不規則勤務である事と業務に追われてしまいゆっくり指導できない
- 5 業務多忙で学生についてあげられない。細かな指導が行き届かない
- 6 職員不足の日にはきちんとついてあげれない
- 7 介護の現場が利用者のケアに追われ、実習生に対して十分な指導、アドバイスが出来ない。お手伝いの立場になってしまうこともある
- 8 学校が受け入れてほしいという人数と時期にきちんと施設がその体制を整えられるか悩むときがある
- 9 現場の職員が不足しているのに受け入れてしまい十分な実習が出来なかった
- 10 職員不足の状態での実習生の受入をしてしまいきちんと実習指導できなかった。業務に追われてしまい実習指導をする余裕がない
- 11 勤務人数が限られている中で多勢の対応は難しい。1~2名程度が限界
- 12 実習日と勤務日の調整について担当している職員が複数いる為、連携が取りづらかった。学校での規則についての周知がうまくいかず、違反している学生へのアプローチができなかった
- 13 複数重なる事があり、職員不足の時もあり、配置に困った
- 14 受入実習生の関係資料が現場になく事務所で情報が止まっている
- 15 実習生のための休憩室がなく、職員と一緒にとってもらった
- 16 実習に力を入れるが手間・時間をがかかるため部下への支援が後回しになることがある

【同僚】

- 1 学生に対して指導にバラツキがある
- 2 職員によって学生への対応に差がでてしまう
- 3 昔のやり方を教えてしまう人がいる
- 4 伝え方にばらつきがあり、職員の方が根拠に基づいた指導ができていない
- 5 指導する職員(無資格者、経験不足)の力量の差があり、根拠を伝えていない
- 6 指導する職員が入社して3年目等まだ経験が浅い職員にも実習生がついてしまうところ
- 7 指導者じゃない人がほとんどであるため、要望に沿った指導が出来ているか不安
- 8 ユニットリーダー任せにすることが多いが実習指導ができていない
- 9 学校で設けられている規則をきちんと理解していない
- 10 実習指導より現場に入って欲しいという声あり辛かった
- 11 実習生の指導は業務をしながらなので不満がでる
- 12 指導者任せにしてしまい、他人事
- 13 他人事のようになる事
- 14 実習生を受け入れ指導するのは指導者がする事と思っている
- 15 引継ぎ等ができておらず異なる対応になっている。実習の目的や目標が伝わっていない
- 16 職員の勤務がまちまちで昨日の情報が伝わりにくい
- 17 情報の共有
- 18 連絡ミス・確認不足により予定していた内容が実施出来ない事があった
- 19 説明への反応がないこと。連続して職員が毎日対応できないので学生の情報を(一日一日の実習状況)伝達していくのが難しい、手間がかかる
- 20 当日の実習担当をやりがらない職員がいた
- 21 長い期間であると中だるみ的な場面が出てきてしまう

【問5-4】 介護福祉士養成校学生の实習をよりよくするための具体的方法がありますか

- 1 勤務の都合上、実習指導者のみで学生の指導を行うには限界があるため現場職員全体で体制を整える必要がある
- 2 施設全体で学生を受け入れる理解とプログラム、対応策を整える。指導職員のレベルアップ
- 3 介護現場の質が高ければ学生も学ぶ事がある(現場職員の資質向上)
- 4 実習指導者も含め「施設」としての受入を学べる研修をして欲しい。施設としての体制が整っておらず、うまく実習生が実習できる環境、施設側の理解が足りない
- 5 施設としても責任が持てるように余裕のある状態で実習生受け入れをする体勢をつくること
- 6 連絡体制を整える事を含め、マニュアル化を図る
- 7 毎年定期的に受入が学生を受け入れることができれば職員も慣れると思う

- 8 職員数不足のため、学生にゆっくりとつけない現状がある以上難しい
- 9 指導方法を統一する
- 10 実習指導者が他の職員にも指導法など伝えながら職員から学生へのアプローチが必要
- 11 実習担当職員と勤務時間帯を全て合わせられるとより良い
- 12 スタッフ一同が同じように教えていく。実習生が考えられる言葉の投げかけをしていく
- 13 個々で関わってどんな伝え方が良いのかを指導者が学び、対応していかないといけないと思う
- 14 その都度、声かけを行い、実習がどこまで進んでいるか確認をとる
- 15 記録(日誌)のレベルアップ
- 16 実習生によって個人差がある。積極的に実習をすすめられる人は問題がないが、そうでない実習生は実習前に学校で事前の準備をしっかりしてくる(課題のすすめ方、質問等)
- 17 目標に添った介護計画が立てられるようになると実習に対して身がはいるのではない
- 18 一日の目標を具体的に考えて指導者に伝えて欲しい
- 19 学校で考察のやり方・考え方も学ぶ
- 20 プレ実習一日とか体験を行って目標の立て方や実習期間の目標達成へのすすめ方を学校で学ぶ(予行演習)してきてはどうか
- 21 実習事前見学やオリエンテーションを行う
- 22 実習生だけでなく教員との連携もより密に出来れば学校、実習先で一貫して足並みを揃え指導できる
- 23 ボランティア活動を多く経験されると良い
- 24 実習前に1~2日ずつボランティア経験や見学を行う。
数箇所、施設で体験する。実際どんな場所か事前に知る機会を持つ
- 25 学生が主体的に実習を行ってもらえば良いと思います
- 26 学生自体がモチベーションを高くもってくれればと教えがいがある

【問5-5】 介護職員初任者研修受講者の実習で困ったことは何ですか

- 1 受講者が年配者が多く、利用者が困惑している様子
- 2 知識があるので勝手に聞かずにケアを行ってしまう
- 3 実習の目標・目的が良く分らない方がいる(特に短期間の実習生)
- 4 事前の学習を身につけていないので、初歩的などころからする必要があり手間がかかる。資格取得を目標なのか疑わしいこともある。参加すれば良い位と思って来ている人もあった
- 5 できるだけ実習指導者が担当となるためには実習の日程を2~3月前(勤務表作成のため)には知らせほしい

【問5-6】 介護職員初任者研修受講者の受入体制(施設・同僚)で困ったことは何ですか

【施設】

- 1 事業所の受入体制が整理されていない
- 2 受入時期および人数に応じて施設の体制が整えられるか悩む
- 3 受入人数(2名まで)および実習内容に限界があることを理解してほしい
- 4 職員不足であり、通常業務と実習指導との同時進行は困難
- 5 実習生が利用できる部屋の確保ができないので記録や休憩がゆっくりできない

【同僚】

- 1 感情のコントロールができず周囲の人に影響を与える
- 2 指導職員より実習生の年齢が若い場合は指導はやりにくそうにしている
- 3 積極的に質問・行動する実習生とはきちんと関わられるが自分から関わってこられない実習生にはあまり関わらない

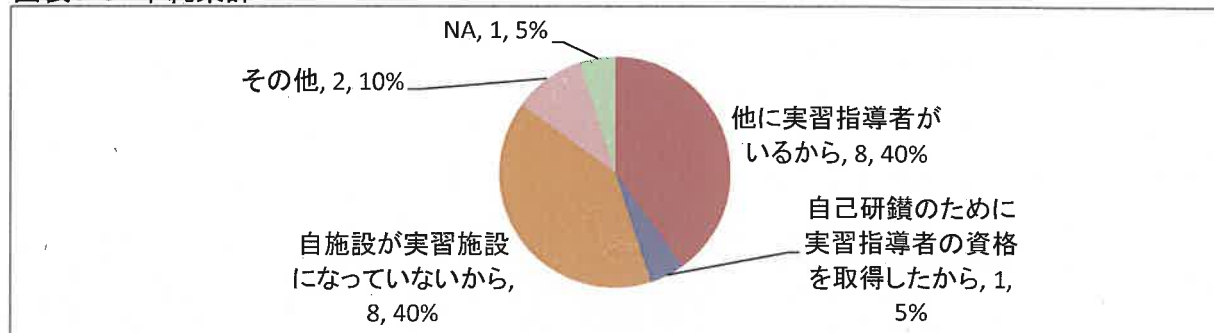
【問5-7】 介護職員初任者研修受講者の実習をよりよくするための具体的方法はありますか

- 1 施設の受入体制を十分に確保。まず職員不足での実習受け入れは対応が困難
- 2 初任者研修の目的を実習生と担当で事前に確認できるといい
- 3 レベルの高い者に合わせる
- 4 事前に打ち合わせ、実習生の情報の共有をしていくと良い
- 5 実際に仕事に結び付けている想いがあるのか否か当人のレベル、能力、経験等事前にわかると良い
- 6 施設側の受け入れ態勢。マンツーマンでの指導する態勢の整備
- 7 シーツ交換や掃除等、直接介護以外の事をしてもらうことが多くなってしまうが様々な介護現場の見学をしてほしい

【問5-8】 「2. ない」(実習指導をしていない)を選択したのはどのような理由からですか

理由	他に実習指導者がいるから	自己研鑽のために実習指導者の資格を取得したから	自施設が実習施設になっていないから	その他	NA	合計
	8	1	8	2	1	20

図表5-8 単純集計



選択した理由

業務	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
他に実習指導者がいるから		6	2				8
自己研鑽のために実習指導者の資格を取得したから		1					1
自施設が実習施設になっていないから		3	2		1		6
その他			1				1
NA		2		2			4
合計	0	12	5	2	1	0	20

業務	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
他に実習指導者がいるから		30%	10%				40%
自己研鑽のために実習指導者の資格を取		5%					5%
自施設が実習施設になっていないから		15%	10%		5%		30%
その他			5%				5%
NA		10%		10%			20%
合計	0%	60%	25%	10%	5%	0%	100%

(その他)

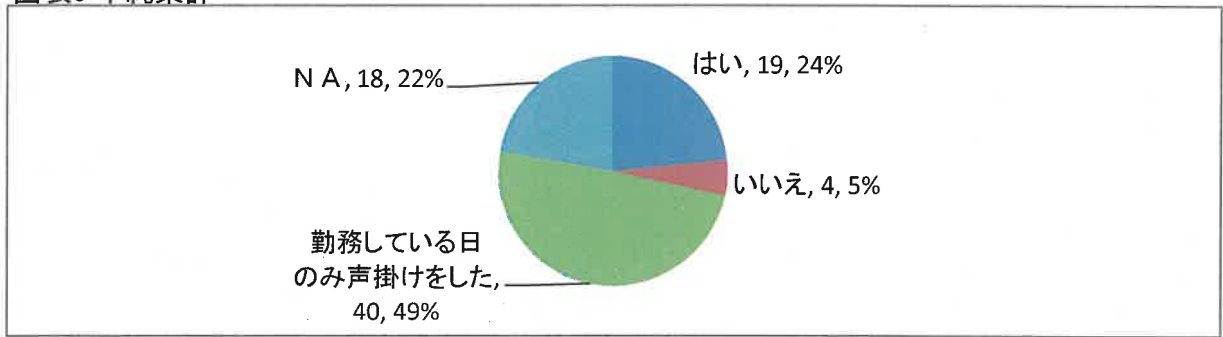
- 1 一般、ヘルパー、新人の指導は行う
- 2 受入体制が整っていない
- 3 実習施設としての周知が不十分
- 4 最近受け入れることとなったためまだ実習生いない
- 5 看護師実習生の受入があり院内には職員配置により受入できない
- 6 実習生受入をしていない事業所に所属しているから
- 7 ヘルパー養成校

実習指導をしていない理由としては、他に実習指導者がいるからと自施設が実習施設になっていないからが同人数の8人(40%)で最も多く、自己研鑽のために実習指導者の資格を取得したいからが1人(5%)であった。年齢別にみると30歳代12人(60%)で最も多く、次いで40歳代の5人(25%)であった。

【問6】 実習期間中の実習者への声掛けをしましたか

声掛けの有無	はい	いいえ	勤務している日のみ声掛けをした	NA	合計
	19	4	40	18	81

図表6 単純集計

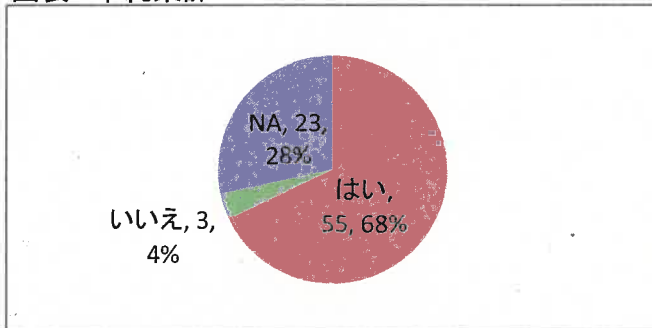


実習期間中の実習者への声掛けで最も多かったのが勤務している日のみ声掛けをしたが40人(49%)と多く、次いではいの19人(24%)であった。

【問7】 実習者の質問に対して解決できるように行動したかしましたか。また、選択した理由を具体的に記入してください

解決できるような行動の有無	はい	いいえ	NA	合計
	55	3	23	81

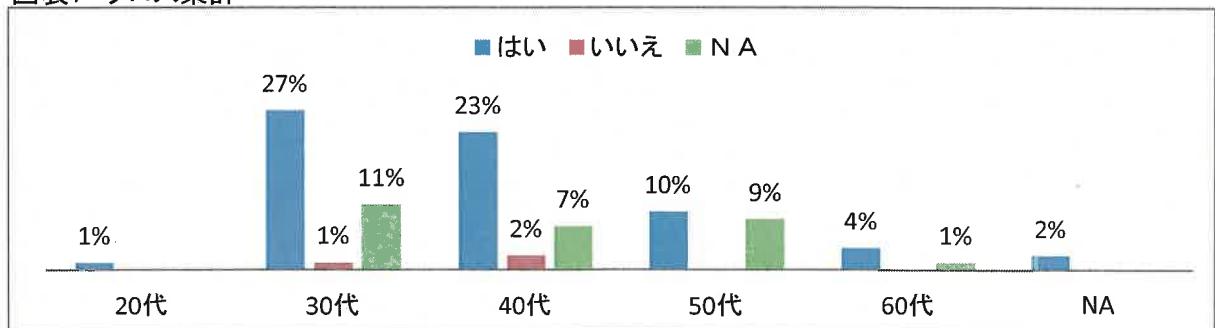
図表7 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	22	19	8	3	2	55
いいえ		1	2				3
NA		9	6	7	1		23
合計	1	32	27	15	4	2	81

	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1%	27%	23%	10%	4%	2%	68%
いいえ		1%	2%				4%
NA		11%	7%	9%	1%		28%
合計	1%	40%	33%	19%	5%	2%	100%

図表7 クロス集計



選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 本人の不安を解消し、指導者目線での気づきは実習当日に伝えた
- 2 実習中で戸惑っている際はその場で声掛けをし、話を聞き解決する
- 3 当日の目標を確認し、当日のうちに解決できるよう配慮した
- 4 質問に対しては適切な返答ができるよう調べてから分かりやすいように説明した
- 5 実習の最後には必ず話をする時間を作り、その日の疑問・質問はその日に解決するようにしている
- 6 実習生の毎日の表情でおかしいと感じた時は、すぐ声かけをしている
- 7 実習後、毎日振り返りの時間が設けられているため、その日の疑問を解決できるようにしている
- 8 勤務日は5～10分、毎日ミーティングを行い悩みや質問を聞いている
- 9 実習生の質問に対し、他職種(看護・リハ・相談員等)とのカンファレンスや指導を受ける場を設けた
- 10 毎日1対1で話す時間を持ち、質問や疑問に感じていること等聞くようにしている
- 11 記録を読み考察にてもう少し具体的に話を聞いたりケアについて困っていることに違う方法や見方を提案し理解を体感できるように促している
- 12 勤務以外(休日)の日は顔を合わせられないために当日いるスタッフに対応を依頼している。
その後、その時の様子を聞いたり(スタッフ、学生双方に)している
- 13 勤務しない日は他の指導者に依頼をし、情報を交換を行い実習生が不安なくできるようにしている
- 14 指導につく職員にも意識を持ってもらうため、実習生からの質問等あったかなどは質問票を作成し共有している

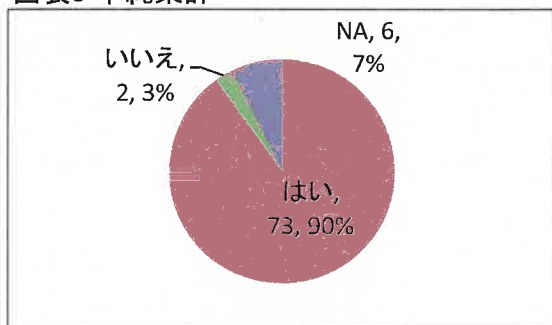
解決できるような行動をしたと回答は55人(68%)であった。年齢別にみると30歳代が32人(40%)と最も多く、次いで40歳代の27人(33%)であった。

行動した具体的なこととしては、「質問に対しては適正な返答ができるようわかりやすいように説明した」、「実習生の表情がおかしいときには声掛けをした」であった。

【問8】 実習の様子について他の職員と共有していますか。また、選択した理由を具体的に記入してください

他の職員との共有	はい	いいえ	NA	合計
	73	2	6	81

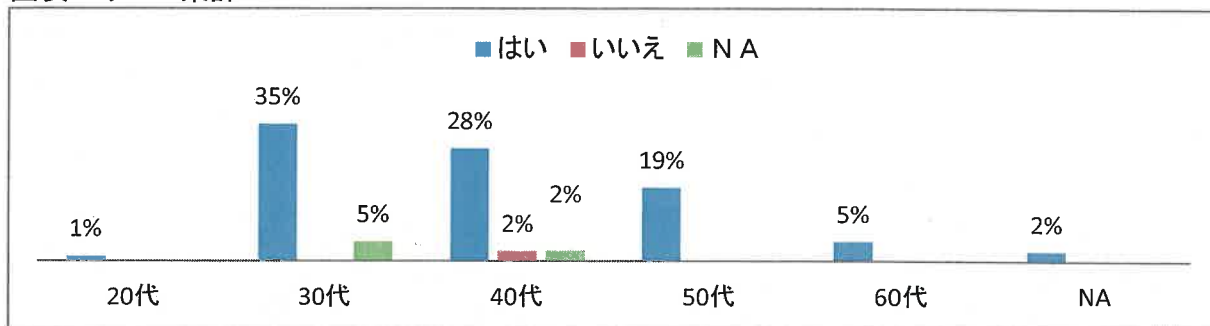
図表8 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	28	23	15	4	2	73
いいえ			2				2
NA		4	2				6
合計	1	32	27	15	4	2	81

	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1%	35%	28%	19%	5%	2%	90%
いいえ			2%				2%
NA		5%	2%				7%
合計	1%	40%	33%	19%	5%	2%	100%

図表8 クロス集計



選択した理由(現状)を具体的に記入

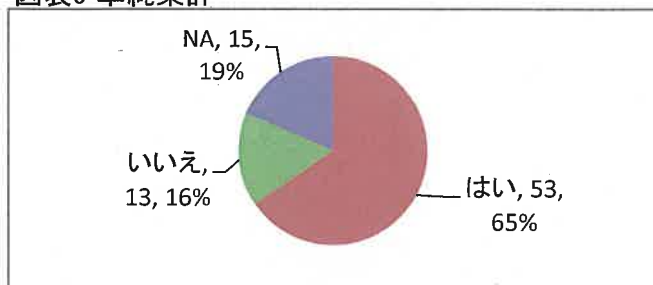
- 1 担当のスタッフより、実習生の様子を伝えてもらい気がかりな事があれば、こちらから実習生に声を掛けている
- 2 1週間ごとに進行状態を伝達して共有している
- 3 実習期間中、毎日担当職員が異なるため学生の様子を聞くようにしている
- 4 実習期間中、毎日勤務しているわけではないので、自分の勤務日以外の日々に指導する職員に対し、事前に指導して欲しい事を伝えたり、指導時の実習生の様子を聞いた
- 5 実習指導者のみで情報を共有している
- 6 他の職員から様子・質問・態度等について聞き取りをしている
- 7 配属ユニット職員と共有
- 8 指導者だけの目だけでなく、色々な視点や職種から気づくことを本人に伝えたり、反対に本人の当日の目標を他の職員と共有することで達成度をみたり、声かけに繋がる事が出来た
- 9 他職員にも学生の目標をしっかり伝え、様子などを聞き共有している。学生からの質問がなかったか、利用者との関わり方で気になった事など把握するようにしている
- 10 実習指導は正副2人で担当し、実習指導者不在時は、他の職員も指導に入る。他職員にも実習中の様子を確認しながら指導者間で情報の共有を図っている
- 11 進捗状況を確認できるようなツール(ノート)を用意したが業務上非常に簡略化した物になるため様子までは窺えず他職員との会話が増やさなければならないのに書類(自分の業務も含め)処理に追われて減ってしまった
- 12 看護学生が実習に来るため、医療的な分野は看護師にリハビリについてはPT/OT/STに確認し情報共有している
- 13 実習担当予定表を作成し、自分だけでなく他のスタッフにも担当してもらい、良い所や改善するべき点を主観的ではなく他のスタッフの意見も含めて指導している
- 14 実習生用のノート(進捗確認)を作成し、その日の担当職員に書いてもらった
- 15 実習生が困っている事がないか聞き、困っている事を解決できるよう他の職員と相談した

他の職員と実習生の様子について共有したと回答したのは73人(90%)で、具体的な方法としては、「他の職員から様子・質問・態度等について聞き取りを行う」、「実習指導は2人体制で行っている。どちらも不在の場合は他の職員に実習の様子を見てもらっている」であった。

【問9】 実習者の課題達成について職員間で協議して実習評価をしていますか。また、選択した理由を記入してください

実習評価	はい	いいえ	NA	合計
	53	13	15	81

図表9 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	19	20	9	3	1	53
いいえ		5	4	2	1	1	13
NA		8	3	4			15
合計	1	32	27	15	4	2	81

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

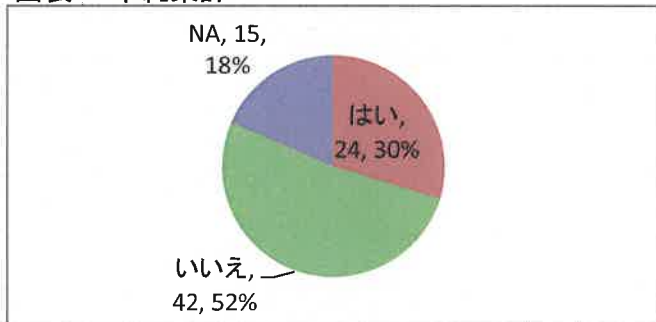
- 1 どうしても担当者のみが実習生の課題している場合が多い
- 2 職員全員ではないが現場で気づいたことや相談員の視点から等の意見を参考に評価を行った
- 3 職員間で協議まではしていないが、どんな様子だったか聞いている
- 4 実習中の全てを見て聞いている訳ではない為、関わった者同士で評価をしている
- 5 評価の協議はしないが様子を聞いて情報を得たり確認している
- 6 特別、参考になる内容であれば別ですが、現場の状況で忙しいのでそこまでの時間を取れていないのが現状
- 7 指導者同士では話はするが現場のついてもらった職員とのあらたまった協議はすくない
- 8 様子の情報提供は共有するのが良いと思うが、実習評価に関しては実習指導者(各フロアーに2名)と、学校の先生で協議すると決めていた方が良くとおもう
- 9 指導者以外が学生の実習に深く関わることは少ないため
- 10 実際の評価は管理者が行っているため
- 11 皆で話し合う時間がない
- 12 実習指導者のみで情報共有。他職員には情報が回ってくるわけではない。その日の目標・課題達成ならしていると思う

職員間の協議して実習評価を行っているが53人(65%)で行っていないが13人(16%)であった。していない理由としては「指導者以外の学生が実習に関わることがないため」、忙しいので時間を割いてもらえない」であった。

【問10】 実習終了後、施設内で実習指導者主催の反省会を設けていますか。また、選択した理由を記入してください

反省会の開催	はい	いいえ	NA	合計
	24	42	15	81

図表10 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい		8	7	6	2	1	24
いいえ	1	16	17	5	2	1	42
NA		8	3	4			15
合計	1	32	27	15	4	2	81

「はい」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 指導者でチームを組み、マニュアル作成や検討課題を話し合いその内容は引継ぎにも使用している
- 2 成果や疑問点、頑張った面を評価して伝える事で今後の課題を見つけてもらうように。施設にとっては気づきをもたらしたり人に教えるということで職員教育の場にする為、毎日行っている
- 3 毎日、実習終了後にその日の指導者と学生の振り返りの時間を設けている。実習終了後には実習指導者主催の反省会(カンファレンス)を行い、実習中の様子等について話し合っている

- 4 毎日、反省会を設け、分らない事や不明な事はその日のうちに解決できるようにしている。また内容によつては解決するためのヒントを与え、自ら調べたり、確認したり出来るようにしている
- 5 修了後ではなく実習評価時に同時に反省会もしている
- 6 実習生に対してどのような指導が的確であったか再確認することにより次の指導に活かしていく
- 7 責任者と受け入れ部署リーダーが反省会に参加している
- 8 実習指導者だけでなく他の職員も参加している
- 9 全職員が同じ対応が出来るように

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 最終カンファレンスを行っているが指導者主催の反省会は行っていない。最終カンファレンス時にコメントにて伝えるべきことは伝えている
- 2 反省会という形ではなく実習後、学校からの書類等をうけて職場内研修のときに報告という形をとって職員に周知を図った
- 3 反省会は設けていないが、指導者同士でお互いに気になる事や困った事を報告・相談している
- 4 学生とのカンファレンスのみで職員間ではアンケートを実施している
- 5 簡単な情報交換程度しか行っていない。今後はしっかり行って行けるといいと思った
- 6 配属ユニット職員からの聞き取りと実習指導者同士の振り返りを行った。反省会という位置づけでは開催
- 7 実習指導者主催の反省会は1回も行ったことがない
- 8 その時間はとれないので個々で反省をしている
- 9 記録、業務的な事は、その都度指導しているため行っていない
- 10 毎回終了後には行っていない。業務中になかなか時間がとれない。不定期で指導者が集まり情報交換・共有はしている
- 11 実習指導者主催では行っていません
- 12 特に理由はないが、今後はそのような場を持ったほうがいいと感じている
- 13 なかなか時間をつくる事ができない
- 14 時間がないが個人的には話をしている
- 15 思いもよらなかった
- 16 毎日の業務に追われて時間がとれない
- 17 カンファレンスを行っている
- 18 会議としては設けていないがどうだったかの話はしている
- 19 その都度行うため、改めて設けていない
- 20 介護主任、リーダー、担当者ぐらいのメンバーでしか話ができでない
- 21 上司に報告するのみになっている

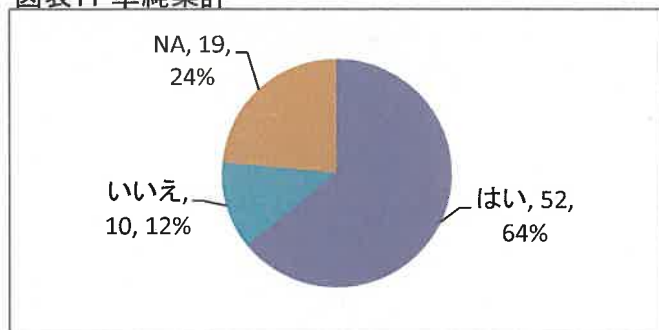
反省会の開催については開催しているが24人(30%)、開催していないが42人(52%)と開催していないが全体の半数以上を占める結果となった。

開催していない理由としては、「上司に報告するのみになっている」、「反省会を開催するなど思いもよらなかった」であった。また、開催している理由としては「全職員が同じ対応が出来るように」、「指導者でチームを組み、マニュアル作成や検討課題を話し合い、その内容は引継ぎにも使用している」であった。

【問11】 巡回担当教員とのコミュニケーションはとれていますか。また、選択した理由を記入してください

担当教員とのコミュニケーション	はい	いいえ	NA	合計
	52	10	19	81

図表11 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	20	18	9	2	2	52
いいえ		3	5	2			10
NA		9	4	4	2		19
合計	1	32	27	15	4	2	81

「はい」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 担当教員から声を掛けて頂き、実習中の学生の悩みなどを教えてもらえることがあり、気になる事なども報告ができています
- 2 先生も指導者がいる日に合わせて巡回してもらっている
- 3 先生方が配慮してくださるので進めやすいです
- 4 基本的には巡回のみであるが、自分の勤務に合わせ巡回してくれているので伝達もしやすかった
- 5 先生が毎日巡回されるのでその際に相談等している
- 6 教員がスケジュールをこちらに合わせてくれたので話をする機会をつくれた
- 7 教員がよく様子を見に来てくれている
- 8 巡回の際、学生の状況を報告したり、相談したりしている。又、時間帯が反省会の時間と重なったときは教員も反省会に入り、学生の様子を見てもらうなど教員からのアドバイスもらう
- 9 担当教員の指導に添っているか含め、学生の不安解消や課題を共有している
- 10 担当教員から学生の担当利用者や施設の状況について質問等がある
- 11 コミュニケーションを積極的にとるようにしている。学生の特徴や学びの進み具合など把握して指導に活かしている
- 12 学生の性格等を聞き、情報共有し実習に取り組んでいる。
- 13 教員から声をかけてこない為、実習指導の担当窓口の職員とのみ話していた
- 14 とれている先生ととれていない先生がいる

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

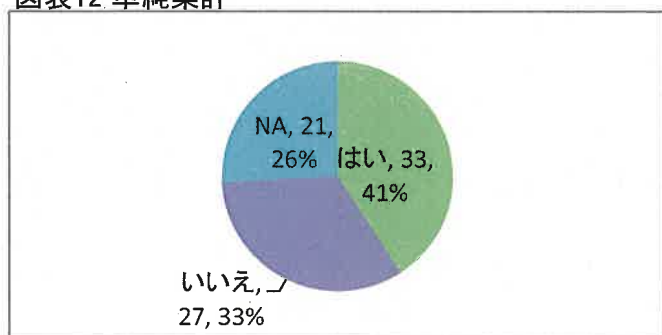
- 1 勤務日に会う事がなかったため
- 2 話を聞かれれば答えるという感じ
- 3 勤務上、会えない時もある。学生には細かく指導しているようだが、指導者にはあまりない
- 4 シフトが合わない。先生方が実習担当者に実習生のこと尋ねたりせず実習生と先生で個室で話されており機会がない

巡回教員とのコミュニケーションがとれているは52人(64%)、とれていないは10人(12%)であった。とれている現状としては、「先生も指導者がいる日に合わせて巡回してもらっている」、「巡回の際、学生の状況を報告したり、相談したりしている。また、時間帯が反省会の時間と重なったときは教員も反省会に入り、学生の様子を見てもらうなど教員からのアドバイスもらう」と記述があった。また、とれていない現状としては、「勤務日に合うことがなかった」であった。

【問12】 実習巡回予定を把握していますか

巡回予定の把握	はい	いいえ	NA	合計
	33	27	21	81

図表12 単純集計

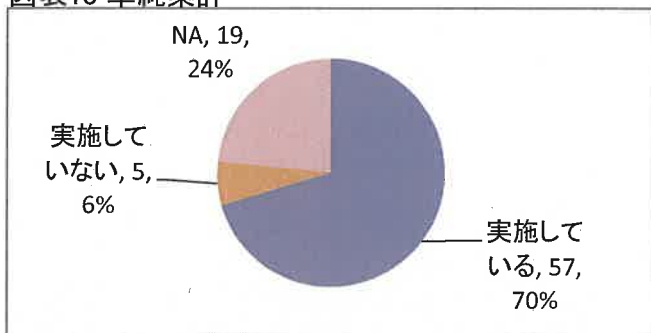


「はい」が33人(41%)、「いいえ」が27人(33%)であった。

【問13】 担当教員を交えた反省会・カンファレンスを実施していますか。また、選択した理由を記入してください

反省会・カンファレンスの実施	実施している	実施していない	NA	合計
	57	5	19	81

図表13 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
実施している	1	22	22	10	1	1	57
実施していない		1	2		1	1	5
NA		9	3	5	2		19
合計	1	32	27	15	4	2	81

「はい」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 定期的にカンファレンスを行う事で実習の進行具合、先生を交えて学生が何を感じているのか等具体的に知る事ができる
- 2 カンファレンス等を行うことにより、より考えが深まったり、その場でアドバイスをもらえたりするので学生にとって良い場だと思う
- 3 実習生が立てた目標に対して達成できた事、出来なかった事に対して助言等を行うため
- 4 担当教員、実習生、実習先の主任(1~2名)、指導者(2名)が集まり1時間程度の最終カンファレンスを行っている
- 5 1~1時間半程度、時間を設け実施。実習中の様子や実習生からの困った事や質問に対しアドバイスをする等の内容が主。他に教員と実習生個人の態度や様子について話す事もある
- 6 実習中に途中経過、最終日にカンファレンスを行っている。参加者は実習生、教員、指導者、職員
- 7 中間と最終カンファレンスを行っている
- 8 実習最終日にカンファレンスを行っている
- 9 実習最終日にカンファレンスを行い、実習内容についての評価・指導を行っている
- 10 最終日の1時間程行っている
- 11 必ず実施し、皆で振り返りを行っている
- 12 学校から指定されている

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 巡回時間内に反省会、カンファレンスをする時間がとれなかった
- 2 お互いその意向があるかどうか確認できていないので実施に至っていない

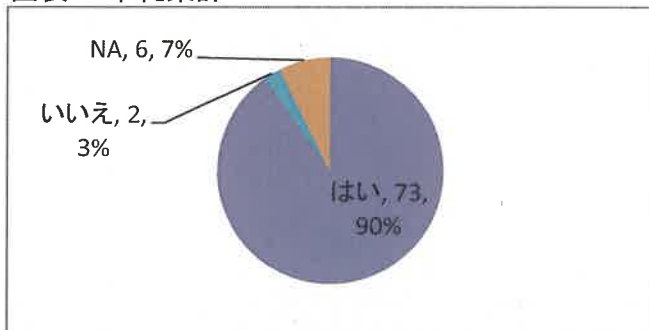
「はい」は57人(70%)、「いいえ」は5人(6%)で「実施している」が7割を占めている。

「はい」を選択した理由として、「実習の進行具合、先生を交えて学生が何を感じているのか等具体的に知る事ができる」、「学生の考えがより深まったり、その場でアドバイスがもらえる」など良い場だと思う。また、「いいえ」を選択した理由として「時間がとれなかった」であった。

【問14】 介護福祉実習指導者講習会にご自身のキャリアアップになりましたか。また、選択した理由を記入してください

自身のキャリアアップになった	はい	いいえ	NA	合計
	73	2	6	81

図表14 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	28	23	15	4	2	73
いいえ			2				2
NA		4	2				6
合計	1	32	27	15	4	2	81

「はい」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 指導者として注意する事や学生への指導方法を学べ、参考にしながら指導に活かしていると思う
- 2 業務の見直しとなった
- 3 説明には根拠が必要な為、再度根拠について考えることができた。疾患についても学ぶことができた
- 4 「伝える」→相手に伝わるように伝えるが意識して実施できるようになった
- 5 意識付けが違う。昔と現在の伝え方は違うということも勉強になる
- 6 自分自身の振り返り、指導方法、人を見る目を養うという意味でキャリアアップに繋がったと考える
- 7 基本に立ち戻れる。共に考えられる
- 8 学生に指導するために自身も学習するため、スキルアップに繋がる
- 9 今までは学生の頃に受けた指導が頭の中にあり、学生だった自分をイメージして漠然とした内容で色々と学生に伝えていたが、指導するポイントや学生との接し方など要点を学ぶ事が出来た
- 10 自身の考え方を整理できる。知識・技術の向上に繋がっていると思う
- 11 学生側の気持ちも理解でき、現代の学生に合った指導法を知る事ができた
- 12 今の学生の考え方を理解する事ができた
- 13 自分の指導能力の確認、振り返り。他の方の意見交換はとても重要でステップアップになります。施設側のキャリアアップとの評価にはなっていません。給料に反映していない
- 14 学生に対する見方が変わり、将来を担う大事な人材として育てていこうという気持ちになった。人材育成という部分で職員に対する視点が変わった
- 15 実習生の気持ちが分ってよかったです。施設の現状、実習指導者担当のみが情報を共有しているという感じなので施設全体で共有し、実習生を支えていけたらと思う
- 16 人材育成の観点からスーパービジョンの実践に役立った
- 17 職員間での支援などの向上に繋がった
- 18 人材育成に携る機会が増えた為、否が応でも勉強が必要になったから
- 19 新人職員を指導する際にも役立っている
- 20 現在、実習生の受入れは行っていないが、新人職員の教育に活かす事が出来ると思います

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

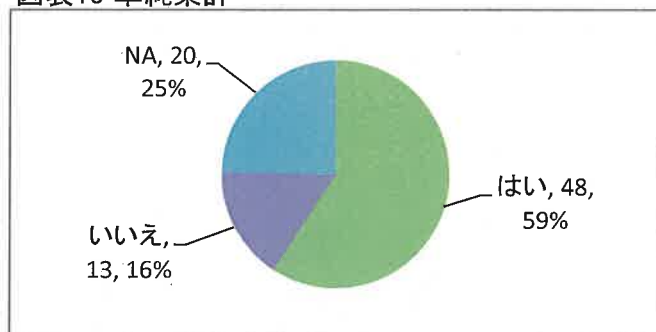
- 1 受け入れをしていない部署に所属のため、活かせていないように思う

「はい」が73人(90%)で「いいえ」2人(3%)であった。「はい」を選択した理由としては「学生に対する見方が変わり、将来を担う大事な人材として育てていこうという気持ちになった。人材育成という部分で職員に対する視点が変わった」、「業務の見直しとなった」、「新人教育の教育に役立っている」などであった。

【問15】 所属事業者の職員教育(新人教育等)に役に立ちましたか。また、選択した理由を記入してください

職員教育に役立った	はい	いいえ	NA	合計
	48	13	20	81

図表15 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	15	19	8	3	2	48
いいえ		9	3	1			13
NA		8	5	6	1		20
合計	1	32	27	15	4	2	81

「はい」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 何かを教える立場になる事で考え気付く事ができる
- 2 育成の視点、方法などを活かした
- 3 指導方法やコミュニケーションの取り方など役立っていると思う
- 4 考えている事、不安に思っている事を聞き出そうとする意識付けになっていると思う
- 5 段階的に新人の状況を把握しながら指導内容を構成することに役立っている。もちろん精神面の変にも繋がるので意識して新人の反応を観察する努力に繋がる
- 6 年齢は様々であるが指導方法は変わらないので焦らず、その型の学ぶペースに合わせて指導していくなど自分自身にも余裕をもっておしえていこうという心構えができる
- 7 全く初めての介護の仕事をする方に、指導された事だけをするのではなく、考えながら、どう業務に当たるか考えてもらえる指導が学べた
- 8 新人の指導だけでなく介護福祉士の実技試験を受ける職員達への実技指導にも役立った
- 9 新人教育時に様々なアドバイス又は職員間で統一したアドバイスを学んだ
- 10 教育の計画作成に役立っている
- 11 学生指導を通して自身の指導方法も日々考えさせられ新人教育にも繋がる部分が多い
- 12 役に立つが、実習指導者以外にも理解してもらいたい
- 13 個人に合わせたアドバイスを伝えたり、話し合う場を設ける事も行っている。職員育成としても講習会で教わった内容を伝達している
- 14 今どきの子との接し方の参考になる

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

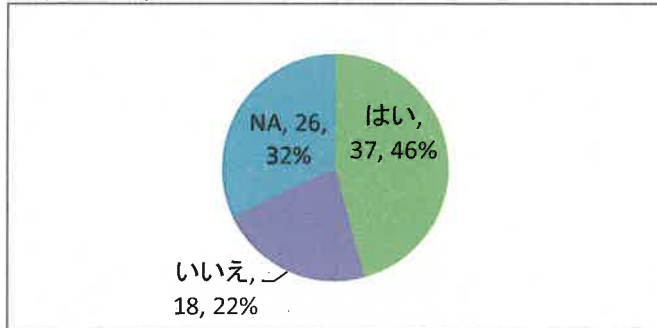
- 1 役立つと思うが、常にフォローアップ研修等での学びと刺激を入れていかないとモチベーションを持続させるのは難しい
- 2 新人が入ってこない。仮にスタッフがやめても「規定の人員を満たしている」との理由で新しい人が入ってこない
- 3 新人教育に携る機会がなかった
- 4 私自身がそのような場にいる事がないため
- 5 これから自施設で働いてもらう新人と実習に来る方の目的が全て合致しているわけではないので役に立つところもある。
実習生は目的と目標を重視するが新人には施設の全てを教えていかななくてはいけないのでどちらとも言えない
- 6 自分の部署に新人が入ってこないため、まだ役立てられていません

「はい」は48人(59%)、「いいえ」は13人(16%)であった。「はい」を選択した理由としては「段階的に新人の状況を把握しながら指導内容を構成することに役立っている」、「新人の指導だけでなく介護福祉士の実技試験を受ける職員達への実技指導にも役立った」などであった。「いいえ」を選択した理由としては「実習生は目的と目標を重視するが新人には施設の全てを教えていかななくてはいけないのでどちらとも言えない」などであった。

【問16】 実習生(者)に対して介護の仕事の魅力ややりがいを伝えることができましたか。また、「はい」を選択した理由を記入してください

介護の仕事の魅力ややりがいを伝える	はい	いいえ	NA	合計
	37	18	26	81

図表16 単純集計



	20代	30代	40代	50代	60代	NA	合計
はい	1	13	12	7	2	2	37
いいえ		6	11	1			18
NA		13	4	7	2		26
合計	1	32	27	15	4	2	81

「はい」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 自分自身の実体験を話しつつ、実習生には伝えるようにしている(嬉しかったこと、悲しかったこと、失敗談、成功談など)
- 2 自分も実習生の経験があるので、伝えられることがたくさんある。常に疑問を持つことでその人が見えてくる
- 3 色々な関わりや取り組みを通してご利用者が変化していくこと。日々の生活の中での、その利用者が何をしたいのか、どういうふうに過ごしたいのか引き出し実践していくこと
- 4 職員が楽しそうに仕事をしている様子を見て、感じてもらえるように努めた。直接質問してきた学生には夜勤をするメリットや不規則勤務のメリット等を伝えた
- 5 技術があれば良いということより、人と人との関わりであるので、どれだけ相手の様子をしっかりと観察して気づきを発見できるかを自分自身に課すること。評価するのは相手の方が行うのであって勝手に自己満足にならないように。相手の方の笑顔をしっかり受け止めるように
- 6 生活の支えになっていることで充実感を得られる点
- 7 大変さでなく楽しさを伝えた。私たちの介護技術で利用者がかわることも伝えた
- 8 何人もの職員がつくのでわからないが、指導者の私としては介護の仕事をやりがいをもってやってほしいとは、いつも伝えている
- 9 指導者としてではなく、なぜ自分が介護の仕事をしているかは伝えたと思いますが、実習生になぜ介護を勉強しているかを聞くと、なんとなくという返事が返ってくるので、伝わっていないようにも思う
- 10 入所者さんらしい生活を送れる事によって、その人が元気になり、笑顔が増えていった事
- 11 オリエンテーション時や反省会時に自分たちの経験、体験談から楽しさ、やりがいを話したり、実習中に学生自ら看取りの方が亡くなられた現場を体験し、介護の仕事の重み素晴らしさを伝えた
- 12 就職につなげられる人には、仕事に就いてからの、より多くの事を伝えた。ケアの仕方、気持ちの持ち方、考え方
- 13 介護観の構築、介護の尊さ、専門職としての自負心
- 14 利用者と関わっていく上で得た喜びや成功体験を伝えた
- 15 一般職よりも自分のやりたい事ができる。担当利用者へのケアを自分で考える事が出来る。女性の多い職場なので考え方や生活に対して柔軟な対応をしてくれる
- 16 利用者を知る事の大切さ、今後の支援について考え、それがその人の生活・生きがいになるためのお手伝いになっているということ
- 17 利用者、家族から信頼された時の事

「いいえ」を選択した理由(現状)を具体的に記入

- 1 担当していない

「はい」は37人(46%)、「いいえ」は18人(22%)であった。「はい」を選択した理由としては「技術があれば良いということより、人と人との関わりが大切であり、相手の様子をしっかりと観察して気づきを発見できるかを自分自身に課すること。評価するのは相手の方が行うのであって勝手に自己満足にならないように。相手の方の笑顔をしっかり受け止めるように伝えた。

【問17】 実習指導者として課題や悩み不安等があれば記入してください

- 1 自分の実習方法や実習生への対応が本当に実習生の成長につながり実り多き実習になっているか、評価する場がない
- 2 今は過去のことになるが、現職の時はもう少しゆとりを持って対応できる時間が欲しいと思った
- 3 実習指導者として施設の認識が低い。研修をうけ、次のフォローアップ研修うけたくても受けることができない。施設側で実習指導者以外のケアワーカーを担当につけるので指導者の存在がうすく感じてしまう
- 4 指導した事を理解してもらえたか、学生に考えて行動できるよう助言ができたか考えることがある。指導時に私自身の視点になっていないか不安に思う事がある。他の職員と指導方法に差がないよう情報の共有や共通理解ができるよう日頃からコミュニケーションをとっておくことが難しい
- 5 毎回、これで良いのだろうかと不安になる
- 6 色んな年代、外国人の方も来るので、言葉の壁、世代間での考え方の違い等を理解しながら介護とは何か、自立支援とは何かを伝えなければならない事。伝わりにくいのも事実なので業務だけでなく、「見せる介護」「伝える介護」をしなくてはいけない
- 7 実習は学生主体で行っているが、何でも質問してくる学生ならよいが、消極的な学生の場合、どこまで口出してよいか悩む。こちらから働きかけても学生の反応が薄い場合、対応に悩む
- 8 軽く返事はするけれど、現実的には体が動かない。つまり行動できない。ギャップをどう埋めながら実践へと繋げていくか、どんどん難しくなる
- 9 認知症患者が増加していく中で新人の方々がどう対応していき関わり方も踏まえて対応の仕方など
- 10 受入→学生に合わせた指導体制を整えていても就職に繋がらないところ
- 11 介護実習カンファレンス時、途中までしか書いていなかった事に対して本人に聞いたところ「のんびりして時間がなかった」と返答があった。いつも進み具合を確認していたが残念に思った。もっと声かけしたり進み具合を確認しておけばと反省する。文章に誤字が多くその場で説明するが毎回誤字が多い
- 12 現場の質を高めること
- 13 学生本人と関わる時間が非常に限られる状況に自分があつた場合、学生に関わる配置職員にきちんと実習について理解してもらえるのか、特に介護過程等が不安
- 14 実習生が抱える不安や悩みは実習期間中でどこまで緩和でき安心感を与えられるか考えながら指導すべきであるが、通常業務をしながらでは正直配慮をする余裕がない
- 15 職員が少ない時、しっかりと関わってあげられない時
- 16 これできちんとその実習生にあつた指導が出来たかは不安である
- 17 実習生がどのような性格で、どう接していいのか、その実習生に対してどのレベルまでの目標を持ってもらったらいいのか悩む
- 18 不安に思うのは最近では施設内には機械等も増え、職員の腰痛軽減にはなっていると思うが、初めから機械やリフトでの介助となるため「基本」を知らずにいる職員が増えていること
- 19 時期によっては、様々な実習が重なるため、受け入れ、指導が大変である(時間差での反省会や毎日の記録(コメント)など)
実習＝就職とならないことの方が多く、実習受け入れにかかる時間・労力はとても大きい。実習＝就職につながるようにするにはどうしたらよいか
- 20 指導する立場として、伝えた事に対して反応をしっかりと欲しい。学びたいという態度・反応を示して欲しい。最新のケア方法についての知識が少ないため、知識を増やす必要がある。学生として同じような経験を持つ身としては、出来る限り学生に寄り添って声かけしているつもりだが、それが学生にどう映っているのか不安に思う
- 21 広く人材育成として捉えているが、本音は実習施設(自施設)に就職してもらえそうな人材であつてほしいが現実はそうでない
- 22 業務に追われ、時間をかけて記録を見られない事もある。職員不足の日には、ゆっくりと日々のカンファレンスを行えないときがある。介護の仕事の魅力ややりがいを伝えられていないと思う
- 23 実習生の悩みや迷いに気づけているのか不安。業務が忙しいため、もっと実習生との時間を作りたいが、現状は困難で申し訳なく思う
- 24 挨拶ができない、コミュニケーションがとれないという学生が多く、ディではコミュニケーションが中心となるため、どの様にコミュニケーションをすすめていくかが難しい。職員がそばにしているとコミュニケーションがとれるが離れるとポーンとしていることが多い

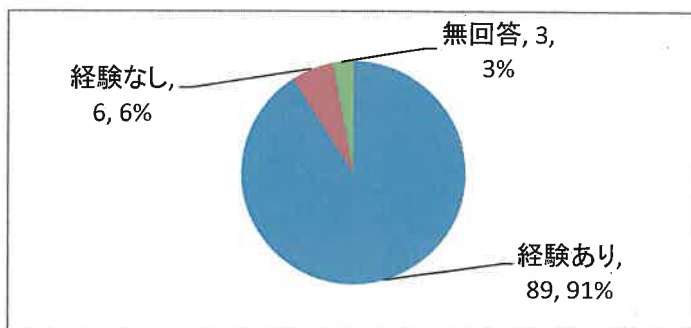
- 25 学生が少ないので指導する機会が少ない。看護学生には指導する機会が多いが、やはり職種が違うので介護の知識や技術をしっかり教えて福祉の仕事をしたい学生を増やしたい
- 26 介護観をどうしたら持ってもらえるか。学生にとって楽しい、やりがいがあると感じてもらいたい。人に対して些細な事に対しても感謝ができる気づきの多い実習にして欲しい
- 27 変則勤務をしているのできちんと実習生に関われていないように思う
- 28 学生に関わるのが自分だけでなく、実習指導者以外のスタッフもたくさんいるが、個々に自己研鑽に努める指導者であってほしい
- 29 介護の仕事の魅力を感じていない実習生が増えてきているように思う。どのようにご利用者と関わりを持って良いか分らなかつたり積極的な行動が取れなかつたり、学びたいと思って実習に来ているのかと疑問に感じてしまう実習生もいることがあった
- 30 業務に追われ学生とじっくり話をしたりする時間が持ちづらい(1日の最後に振り返りの時間を取っているが、一緒にケアに回っても別行動になってしまう事がある
- 31 当施設でも離職が目立ってきている。仕事をしたいという人はなかなかいないので、この先、介護事業所はどうなってしまうのだろうかという不安がある。最近の若者は給料は勿論多いほうがいいが休暇が欲しいと言う声を聞く
- 32 学生の不安に気づき対応できているかが不安
- 33 学生から担当利用者の事などで質問された時に、職員間でケアの統一をしているのにもかかわらず、自分の考えで意見を言ってしまう、他の職員に聞いたときには違うように言われた、と学生に言われたときに対応に困った

「福祉施設実習に関する学生(養成校)の実習の実態調査」

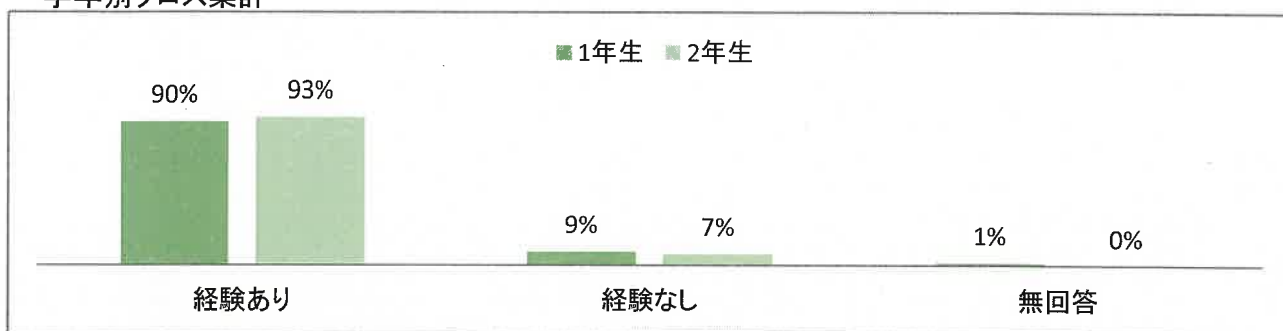
回答:介護福祉士養成校学生

【問1】 施設実習の経験(H29.10月現在)がありますか。

経験あり	89	91%
経験なし	6	6%
無回答	3	3%
合計	98	100%



学年別クロス集計



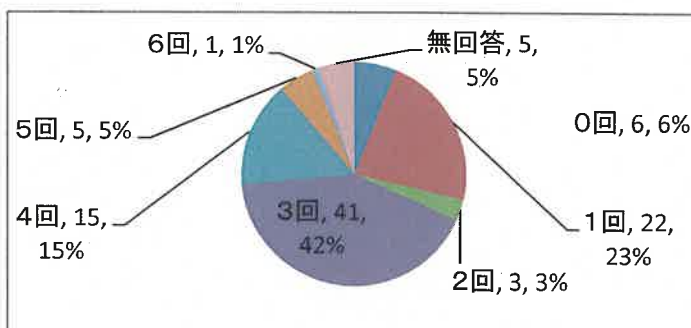
	経験あり	経験なし	無回答	合計
1年生	63	6	1	70
2年生	26	2	0	28
合計	89	8	1	98

	経験あり	経験なし	無回答	合計
1年生	90%	9%	1%	100%
2年生	93%	7%	0%	100%

施設経験ありと回答した学生が91%であり、ほとんどの学生が施設実習の経験ありと回答した。施設実習経験なしと回答した6%は施設実習が11月以降に設定されていたためである。

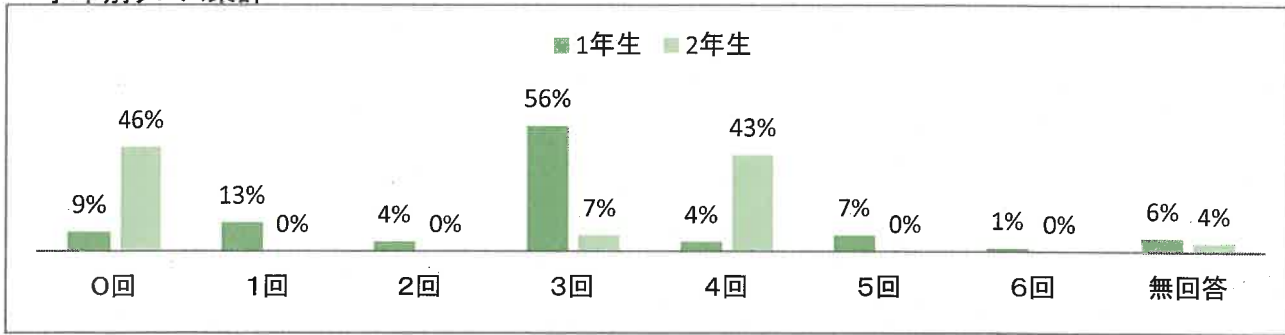
【問1-1】 施設実習の回数(H29.10月現在)

0回	6	6%
1回	22	22%
2回	3	3%
3回	41	42%
4回	15	15%
5回	5	5%
6回	1	1%
無回答	5	5%
合計	98	100%



施設実習の回数は3回が最も多く42%であった。学生1人当たり平均2.6回の実習を行っている。

学年別クロス集計

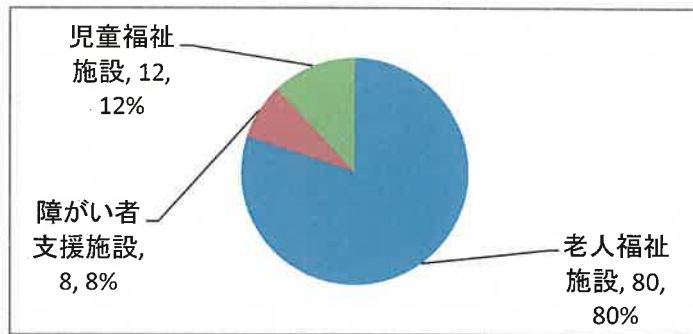


	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	無回答	合計
1年生	6	9	3	39	3	5	1	4	70
2年生	13	0	0	2	12	0	0	1	28
合計	19	9	3	41	15	5	1	5	98

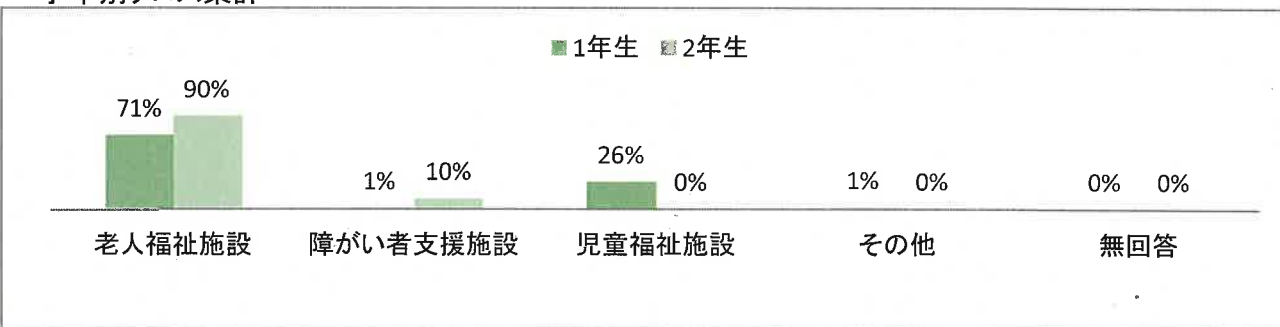
	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	無回答	合計
1年生	9%	13%	4%	56%	4%	7%	1%	6%	100%
2年生	46%	0%	0%	7%	43%	0%	0%	4%	100%

【問2】 施設実習先の種別(複数回答)

老人福祉施設	80	80%
障がい者支援施設	8	8%
児童福祉施設	12	12%
その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	100	100%



学年別クロス集計



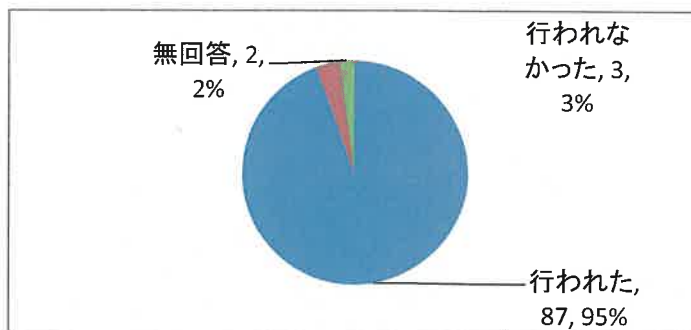
	老人福祉施設	障がい者支援施設	児童福祉施設	その他	無回答	合計
1年生	57	1	21	1	0	80
2年生	27	3	0	0	0	30
合計	84	4	21	1	0	110

	老人福祉施設	障がい者支援施設	児童福祉施設	その他	無回答	合計
1年生	71%	1%	26%	1%	0%	100%
2年生	90%	10%	0%	0%	0%	100%

老人福祉施設が80%と最も多く、次いで児童福祉施設で12%、障がい者支援施設が8%であった。

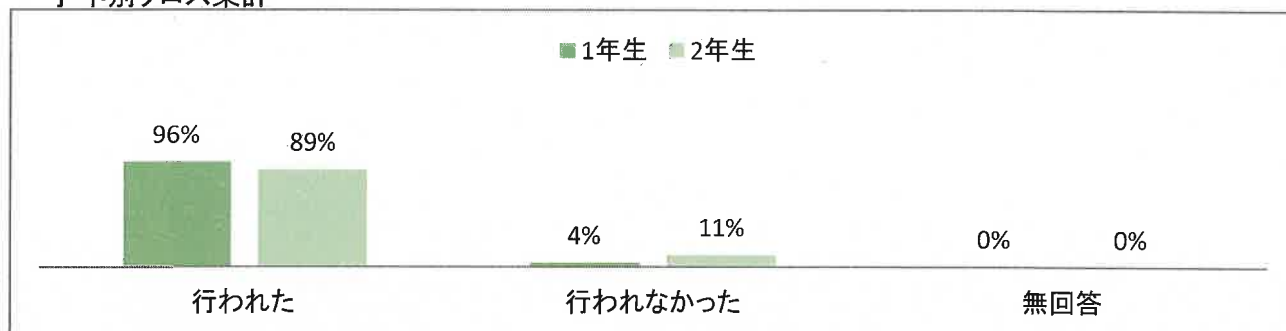
【問3】 施設実習終了後、事後学習は定例に行われましたか。

行われた	87	95%
行われなかった	3	3%
無回答	2	2%
合計	92	100%



施設実習後の事後学習が定例に行われたが95%、行われていないが3%であった。

学年別クロス集計

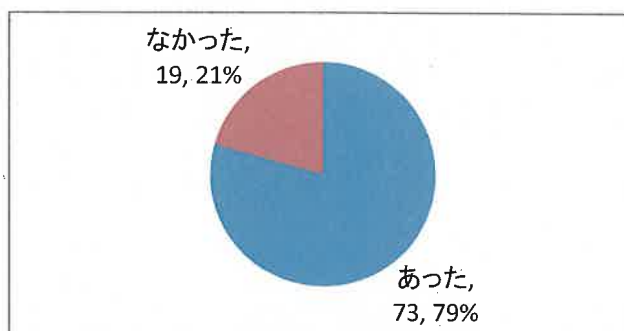


	行われた	行われなかった	無回答	合計
1年生	52	2	0	54
2年生	25	3	0	28
合計	77	5	0	82

	行われた	行われなかった	無回答	合計
1年生	96%	4%	0%	100%
2年生	89%	11%	0%	100%

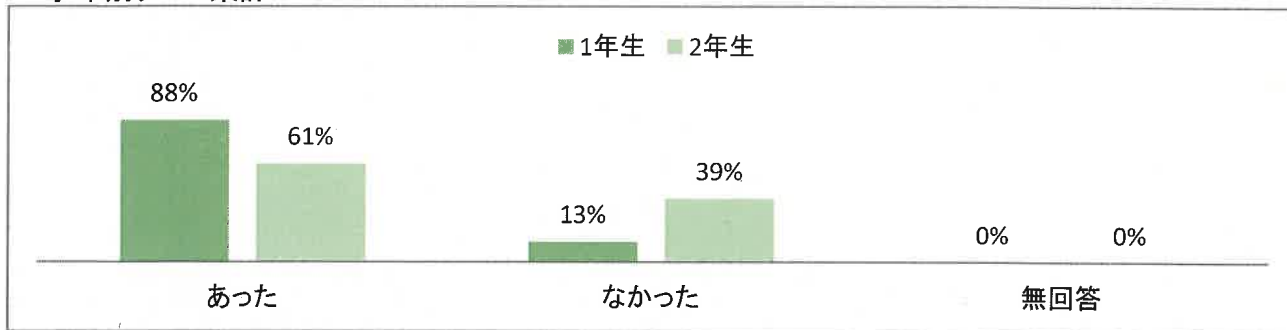
【問4】 施設実習スケジュール(実習予定表)はありましたか。

あった	73	79%
なかった	19	21%
無回答	0	0%
合計	92	100%



施設実習スケジュール(実習予定表)があったが79%、なかったが21%であった。

学年別クロス集計

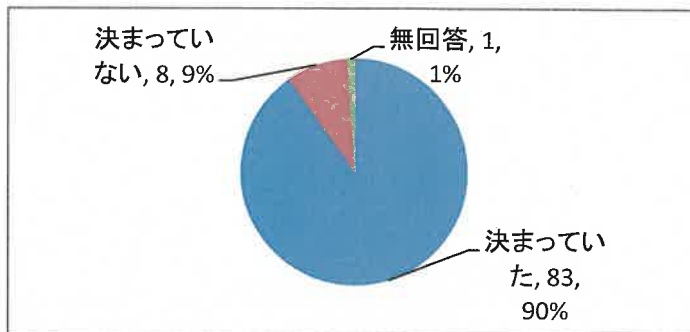


	あった	なかった	無回答	合計
1年生	56	8	0	64
2年生	17	11	0	28
合計	73	19	0	92

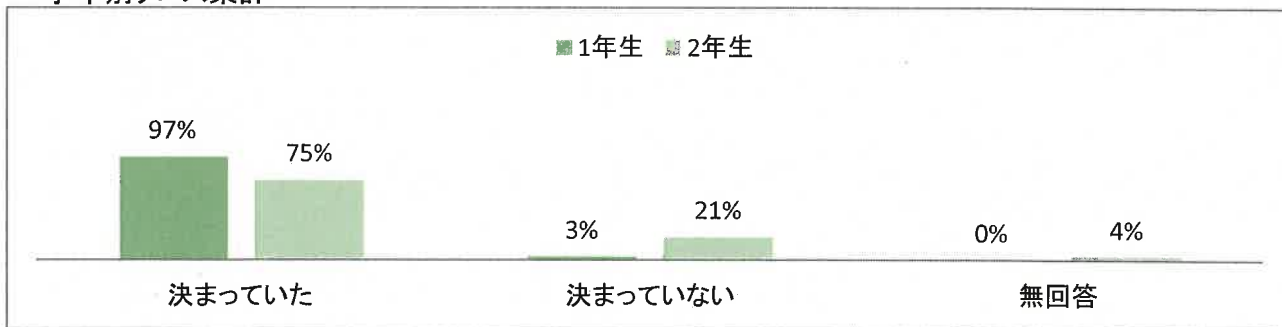
	あった	なかった	無回答	合計
1年生	88%	13%	0%	100%
2年生	61%	39%	0%	100%

【問5】 当日の実習指導担当者は決まっていたか。

決まっていた	83	90%
決まっていない	8	9%
無回答	1	1%
合計	92	100%



学年別クロス集計



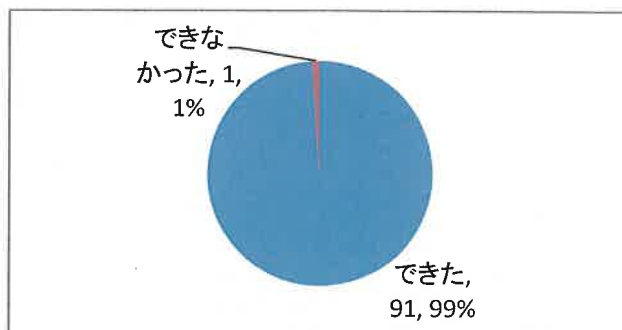
	決まっていた	決まっていない	無回答	合計
1年生	62	2	0	64
2年生	21	6	1	28
合計	83	8	1	92

	決まっていた	決まっていない	無回答	合計
1年生	97%	3%	0%	100%
2年生	75%	21%	4%	100%

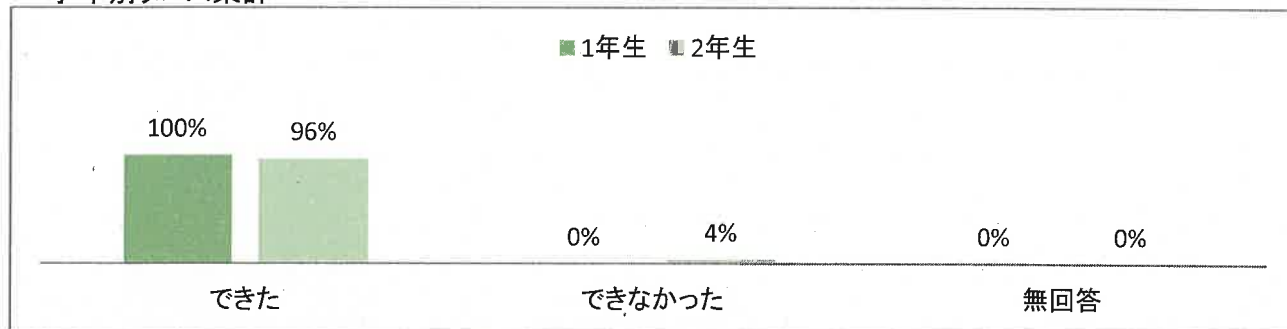
当日の指導担当者が決まっていた90%、決まっていなかったが9%であった。

【問6】 実習指導担当者に質問ができましたか。

できた	91	99%
できなかった	1	1%
無回答	0	0%
合計	92	100%



学年別クロス集計



	できた	できなかった	無回答	合計
1年生	64	0	0	64
2年生	27	1	0	28
合計	91	1	0	92

	できた	できなかった	無回答	合計
1年生	100%	0%	0%	100%
2年生	96%	4%	0%	100%

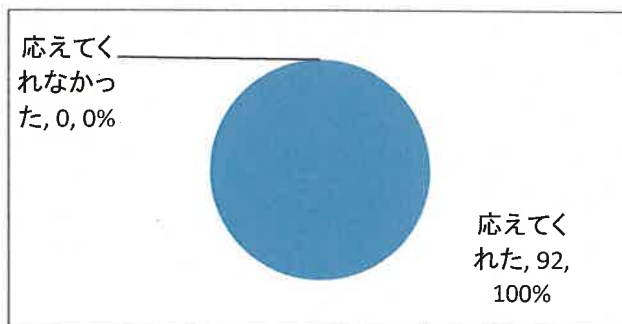
指導担当者に質問ができた99%、できなかったが1%であった。

【問6-2】 どのような理由から質問できなかったのですか。

* 忙しそうでフロアにいなかった

【問7】 実習指導担当者は質問に的確に答えてくれましたか。

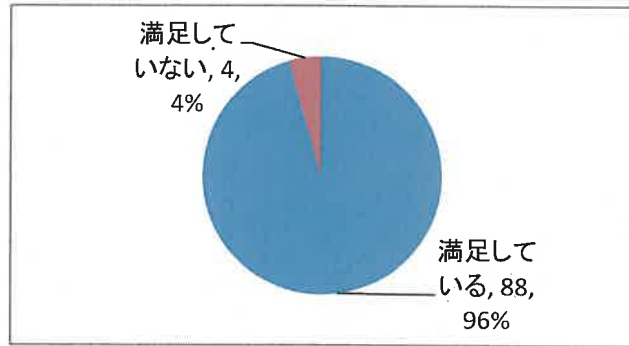
応えてくれた	92	100%
応えてくれなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	92	100%



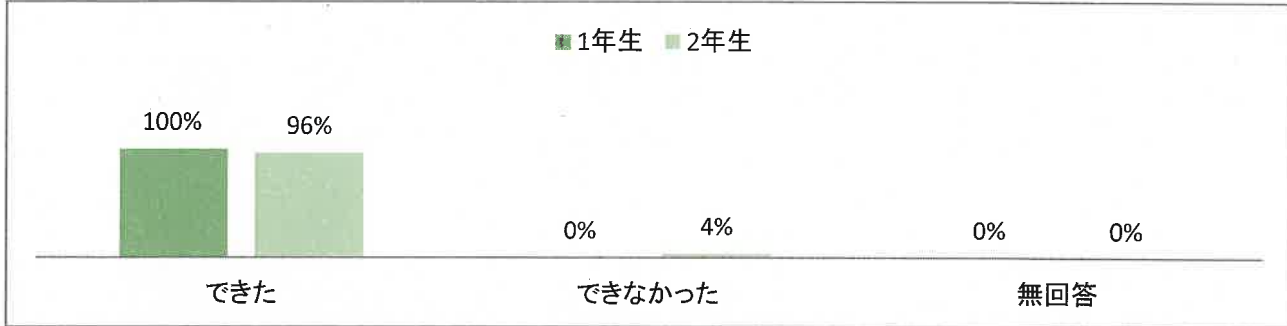
すべての実習指導担当者が質問に的確に答えてくれた。

【問8】 実習指導担当者の指導に満足していますか。

満足している	88	96%
満足していない	4	4%
無回答	0	0%
合計	92	100%



学年別クロス集計



	満足している	満足していない	無回答	合計
1年生	63	1	0	64
2年生	25	3	0	28
合計	88	4	0	92

	満足している	満足していない	無回答	合計
1年生	98%	2%	0%	100%
2年生	89%	11%	0%	100%

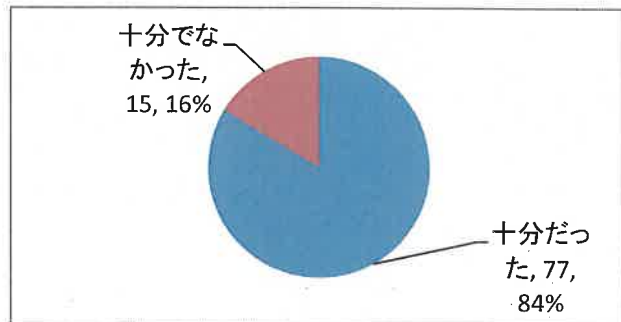
実習指導担当者の指導に満足している96%、満足していないが4%であった。

【問8-2】 どのような理由から満足できなかったのですか。

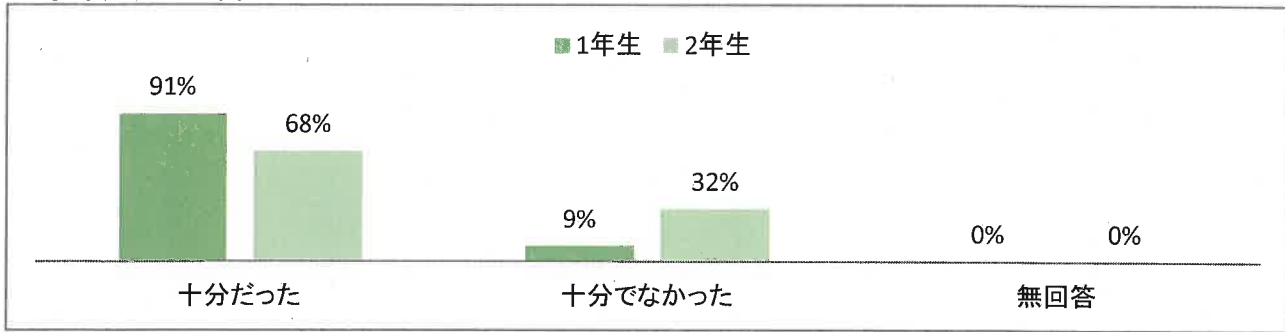
「分からんな～」と言われる事が多かった
 人によって態度が違った
 指導者があまり一緒にいることがなく、分からないときがあった
 難しく理解しにくかった

【問9】 振返りの時間が十分でしたか。

十分だった	77	84%
十分でなかった	15	16%
無回答	0	0%
合計	92	100%



学年別クロス集計



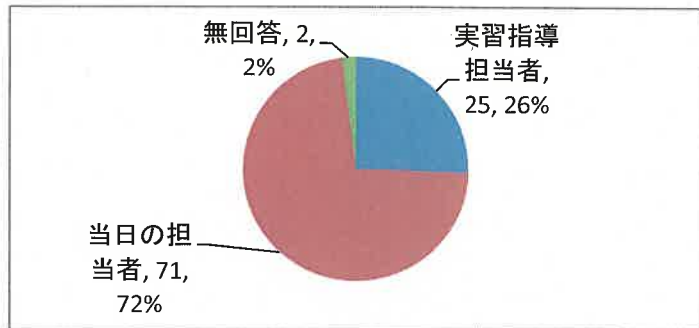
	十分だった	十分でなかった	無回答	合計
1年生	58	6	0	64
2年生	19	9	0	28
合計	77	15	0	92

	十分だった	十分でなかった	無回答	合計
1年生	91%	9%	0%	100%
2年生	68%	32%	0%	100%

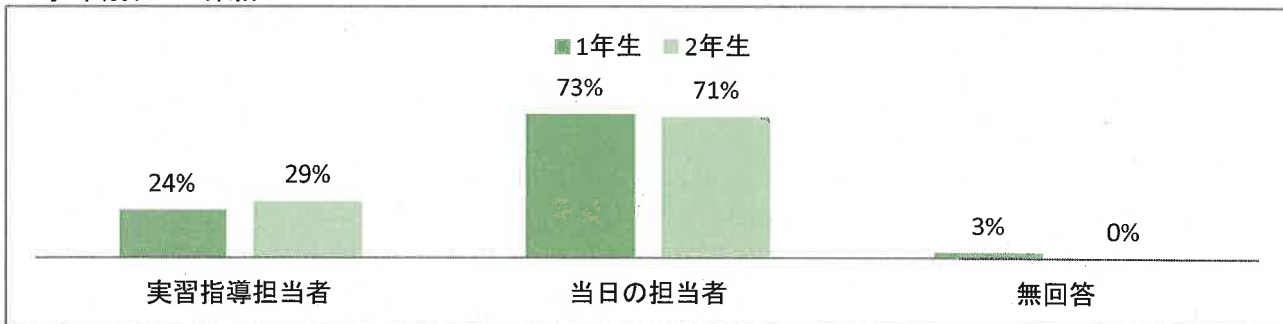
振り返りの時間が十分であったが84%、十分でなかったが16%であった。

【問10】 記録のコメントは誰からしてほしいですか。

実習指導担当者	25	26%
当日の担当者	71	72%
無回答	2	2%
合計	98	100%



学年別クロス集計



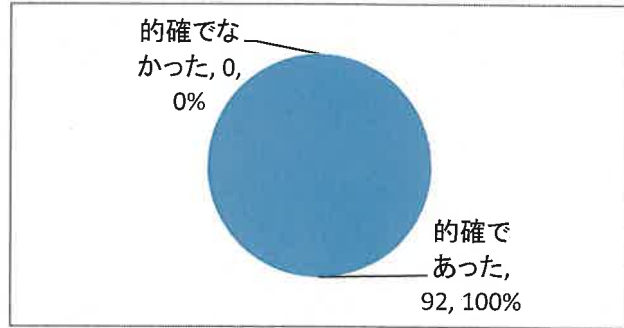
	実習指導担当者	当日の担当者	無回答	合計
1年生	17	51	2	70
2年生	8	20	0	28
合計	25	71	2	98

	実習指導担当者	当日の担当者	無回答	合計
1年生	24%	73%	3%	100%
2年生	29%	71%	0%	100%

記録のコメントは実習指導担当者が26%、次いで当日の担当者が72%であった。

【問11】 記録のコメントは実習内容についての確なものでしたか。

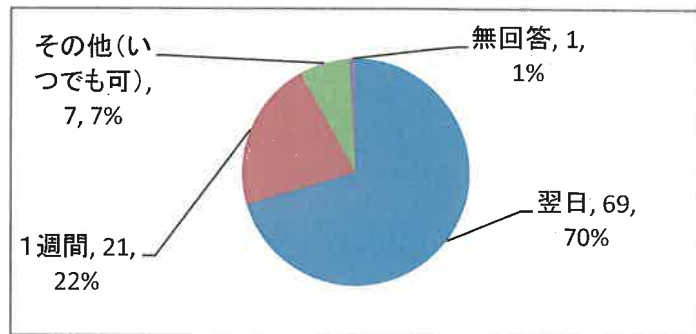
的確であった	92	100%
的確でなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	92	100%



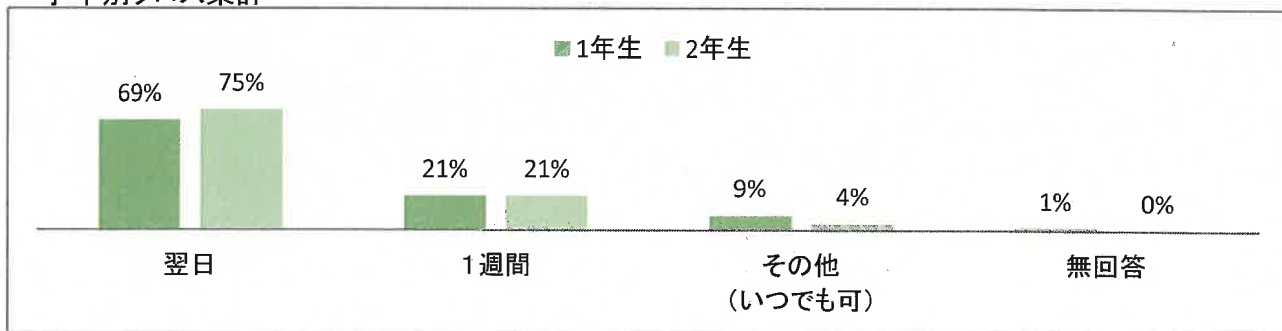
すべて、記録のコメントは実習内容に的確であった。

【問12】 実習記録の返却は何日後を望みますか。

翌日	69	70%
1週間	21	21%
その他(いつでも可)	7	7%
無回答	1	1%
合計	98	100%



学年別クロス集計



	翌日	1週間	その他(いつでも可)	無回答	合計
1年生	48	15	6	1	70
2年生	21	6	1	0	28
合計	69	21	7	1	98

	翌日	1週間	その他(いつでも可)	無回答	合計
1年生	69%	21%	9%	1%	100%
2年生	75%	21%	4%	0%	100%

実習記録の返却日は翌日は70%、次いで1週間後が21%であった。その他(いつでも可)が7%であった。

【問13】

実習中に困ったことがありましたか。

- 1 職員によって言うことが違った
- 2 職員から教えてもらう支援の方法がバラバラでとまどった
- 3 担当の指導者が毎日、違ったため言ってる事が様々で困った
- 4 看護師の言う事と介護士の言う事が違って困った
- 5 実習指導担当者が分らなかった
- 6 毎日、担当の指導者が違い誰に教えてもらったらいかがわからなかった
- 7 実習指導担当者が忙しく殆どいなかった
- 8 しっかりスケジュール、プランを教えて欲しい
- 9 職員同士で連絡がとれていないことがあった
- 10 当日の担当職員の方がどこかへ行ってしまい所在がわからなかった
- 11 職員が皆忙しく声をかけにくい
- 12 実習指導者が休みのとき、誰に聞けば分らず困った
- 13 一人で1フロアの見守を行って、職員の方がいなかった
- 14 一人になる時間が多く、質問のタイミングがあまりなかった
- 15 利用者が喧嘩をしていたが、フロアに指導者がいなくて困った
- 16 利用者が嫌がっているのに好きな話をしていいよと3時間ぐらい放置された
- 17 利用者の方の移動の介助を一人でさせられた
- 18 実習目標と違う事をやるようになり、言い出せなかった
- 19 時間帯によって担当の職員が代わったが、変わった担当を教えてくれなかった
- 20 カンファレンスの記録を書くとき、誰かに聞けばいいのかわからなかった
- 21 昨日の記録を見たくとも見る事が出来なかった(返却してもらっていなかったから)
- 22 記録のコメントが少なくどこを直していったらよいか分らなかった
- 23 皆が集まる部屋で利用者さんとのコミュニケーションをとってと言われたが殆どの人が寝ていて困った
- 24 いきなりやってみて、というのは困った
- 25 初日から同じ人で同じ事していると、慣れてきたから「もう大丈夫だよ、よろしく！」と言われて、すべて任せられたのは辛かった
- 26 職員の間関係
- 27 職員同士の悪口をどう思う？と質問されるのは困った
- 28 看護師さんが冷たかった
- 29 挨拶をしても返してくれない
- 30 指導者のコメントは字が汚くて読めなかった
- 31 早番の時の施設の入口を覚えてもらえなかったので困った
- 32 レクリエーションで利用者の方と一緒に歌えずどうすればいいのかわからなかった
- 33 利用者が突然怒鳴った時の対応が分からなくて困った
- 34 水分補給やトイレは自由にと言われたが、そのような余裕はなかった
- 35 休み時間が遅すぎたり、実習時間が1時間すぎることが途中で帰りますと言えず困った
- 36 自分の車がない為、台風などの自然災害の際の通勤手段に困った
- 37 質問するタイミングが分からず怒られるのではないかと思い質問できなくなかった
- 38 一人の時間ができてしまいどう過ごしてよいかわからなかった
- 39 職員さんが早口で話して1回聞くだけでは分からなかった
- 40 自分のことで必死で留学生に教える余裕があまりなかった
- 41 留学生のフォローをしつつ実習記録を書くのは大変。助けてあげたい気持ちはあるが自身の作業がおろそかになってしまうのは困る

【問14】 実習で望むことは何ですか。

- 1 職員の方の誰かが質問に答えてほしい
- 2 その日の実習指導担当者を毎朝教えてほしい
- 3 担当指導者を教えてもらえず、実習の終了時間近くになってから教えてほしくない
- 4 介助しているときは見守ってほしい
- 5 しっかり悪いところ良いところを教えてほしい
- 6 できていないところや悪いところはしっかり指導してほしい
- 7 介助中に介助の注意点やアドバイスをしてほしい
- 8 スケジュールを明確に教えてほしい
- 9 見本を見てから介助をしたい
- 10 実習生ができることと、してはいけないことを事前に教えてほしい
- 11 移乗などの介護をさせてもらえないことがあった
- 12 職員同士の悪口は聞こえないところで言ってほしい
- 13 利用者の方の悪口を言わないでほしい
- 14 適切な対応の仕方などを教えてほしい
- 15 入浴介助を学びたい
- 16 オムツ交換と介助の技術を勉強したい
- 17 実習で色々な事を学びたいのでたくさん教えてもらいたい
- 18 利用者の個別ケアのことをもっと教えてほしい
- 19 施設独自の取り組みを教えてほしい
- 20 話し合いの時間をもっと設けてほしい
- 21 1つのユニットだけでなく他のユニットの方とも接してみたい
- 22 記録を書く時間を長くしてほしい
- 23 利用者の方とコミュニケーションをとる方法を教えてほしい
- 24 もっとコミュニケーションの見本や利用者の情報を教えてほしかった
- 25 色々な介助の見学をさせてほしい
- 26 ある程度手伝ってもらいながら実践させてほしい
- 27 実際に介護の体験をしたい
- 28 時々声を掛けてほしい

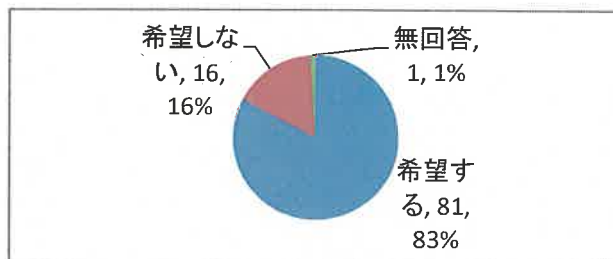
【問15】 実習へはどのような心構えで臨んでいますか。

- 1 笑顔で接すること
- 2 自分から挨拶をし、自分の思い込みで行動せずわからないことはすぐ職員に聞くようにする
- 3 毎日の目標を達成できるように心がけている。また、前日に上手くできなかったことを次の日に活かせるようにしている
- 4 学ばせていただいていると常に思って臨んでいる
- 5 緊張感をもって真剣に取り組む
- 6 出来る限り多くのご利用者と接しようという心構え
- 7 少しでも施設で行われている介助法やコミュニケーション法もとに自分が成長できるように取り組む
- 8 学ぶ姿勢を忘れずに真面目に取り組む
- 9 学べるものは全て学ぶという姿勢
- 10 1つでも多く学ぶ事ができるように
- 11 専門職としての知識や技術を身につける
- 12 謙虚な姿勢
- 13 迷惑をかけないように
- 14 施設や利用者に迷惑をかけぬように
- 15 言葉遣いに気を付けてる
- 16 実習生らしく学ぶ姿勢を大切に。また利用者の方とのコミュニケーションを図る時間を大切にしたい
- 17 介護技術を学び、実践していき今後に繋げていきたい
- 18 毎日楽しく取り組めるように
- 19 一つずつ目標を達成していくために一日一日目標をもって取り組む
- 20 利用者の方に誠実な態度で関わりたい
- 21 分からないところを聞いたり、この施設での介助方法を学ぶ
- 22 自身の健康管理に努める
- 23 学校では体験できない事なので色々な事に挑戦する気持ちで臨んでいる
- 24 失礼がないように。時間厳守
- 25 次やることを予測して行動を考える

- 26 計画書の目標を達成出来るように
- 27 誠実な態度
- 28 技術とかを身につけたい
- 29 介助など進んで行く。分らない事は質問する
- 30 下調べをしっかりとしておく(施設について、昔にはやった歌など)
- 31 言われた事を素直に受け取る。学ばせてもらう者として謙虚で積極的に取り組む
- 32 仕事の流れがどのようなのか知る。遅刻は絶対しない。記録は早めを書く。どのような利用者の方がいるか症状などを知る。

【問16】 卒業後は介護の仕事を希望しますか。

希望する	81	83%
希望しない	16	16%
無回答	1	1%
合計	98	100%



卒業後は介護の仕事を希望するが83%、希望しないは16%であった。

【問16-2】 どのような理由から希望しないのですか。

- 1 職員によってはバイトやボランティアの様に用事を頼まれ、優先すべき事項ができない。また、育成する気のない職員に当たるのが不安だから
- 2 保育に進みたいから
- 3 保育か介護で悩んでいる為。介護職は夜勤があるから悩んでいる
- 4 障がい者支援施設を希望するから
- 5 高齢者ではなく、障がいを持っている子供や大人の人達と接する仕事がしたい
- 6 将来、児童福祉施設で働きたいと思っている。迷いはないが今の状況ではどうなるかわからない
- 7 職員の温かい対応がなかったら不安。仕事を与えられずに長時間放置されたら不安。自分の介助で利用者の方達に何かあったら怖い
- 8 他の事に興味があるので進学したい
- 9 違う仕事を目指しているから
- 10 別の仕事に興味がある
- 11 自分に向いていないから

【問17】 施設実習に対して悩みや不安等がありますか。

- 1 介助中一人になってしまうことがある
- 2 指導者の方がおられなかったり職員の方が少なくなると不安になることがある
- 3 振り返りの時間が絶対にほしい
- 4 職員の方によって指導内容の細やかさなどが違い記録が進まない日があった
- 5 実習では、日本人と一緒に実習するので不安
- 6 施設にいる利用者の方が外国人の私が介助をしている時、不安なのではと感じた
- 7 介助の技術をうまく出来ない
- 8 職員と利用者とのコミュニケーションが不安
- 9 レクリエーションなど人前に立つことができるかが不安
- 10 施設の空気に馴染めるか不安
- 11 1人での実習は相談する人がいないから不安
- 12 一人での介護は不安があるが、職員の方が見ていると緊張してしまう
- 13 介護技術に自信がなく、利用者への声かけをどうすればよいか迷う

調査票

問1 あなたの性別について、該当する番号に○を付けてください。

1. 男 2. 女 年齢 () 歳代

問2 あなたの所属について、該当する番号に○を付けてください。

1. 老人福祉施設 2. 障がい者支援施設 3. 児童福祉施設
4. その他 ()

問3 あなたの主業務に該当する番号に○を付けてください。

1. 介護業務 2. 介護支援専門員業務 3. 相談業務 4. 管理者
5. その他 ()

問4 あなたの事業所には実習指導者（介護福祉士実習指導者講習会修了者）が何人いますか。

() 人

問5 あなたは実習指導をしたことがありますか。該当する番号に○を付けてください。

1. ある 2. ない ※「ない」を選択した方は問5-8へ

問5-1 「1. ある」を選択した方にお聞きします。該当する番号に○を付けてください。

どの実習を担当したか該当する番号に○を付けてください。（複数回答可）

1. 介護福祉士養成校学生（高等学校含む）
2. 護職員初任者研修受講者（高等学校含む）
3. その他 ()

「1 介護福祉士養成校学生」の実習指導で担当した番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 実習施設・事業等（Ⅰ）
2. 実習施設・事業等（Ⅱ）

問5-2 「1. 介護福祉士養成校学生」で困ったことは何ですか。

問5-3 「1. 介護福祉士養成校学生」の受け入れ体制（施設・同僚）で困ったことは何ですか。

施設

同僚

問5-4 「1. 介護福祉士養成校学生」の実習をよりよくするためにどうするとよいか具体的な方法がありますか。

問5-5 「2. 介護職員初任者研修受講者」で困ったことは何ですか。

問5-6 「2. 介護職員初任者研修受講者」の受け入れ体制（施設・同僚）で困ったことは何ですか。

施設

同僚

問5-7 「2. 介護職員初任者研修受講者」の実習をよりよくするためにどうするとよいか具体的な方法がありますか。

問5-8 「2. ない」（実習指導をしていない）を選択した方にお聞きします。それはどのような理由からですか。該当する番号に○を付けてください。

1. 他に実習指導者がいるから
2. 自己研鑽のために実習指導者の資格を取得したから
3. 自施設が実習施設になっていない
4. その他（ ）

問6 実習期間中は実習者に毎日声掛けをしましたか。該当する番号に○を付けてください。

1. はい
2. いいえ
3. 勤務している日のみ声掛けをした

問7 実習者の質問に対して解決できるように行動しましたか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. はい
2. いいえ

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

問8 実習者の様子について、他の職員と共有していますか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. はい 2. いいえ

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

問9 実習者の課題の課題達成について職員間で協議して実習評価をしていますか。該当する番号に○を付けて書きください。

1. はい 2. いいえ

「2. いいえ」を選択した方はどのような理由からですか。具体的にお書きください。

問10 実習修了後、施設内で実習指導者主催の反省会を設けていますか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. はい 2. いいえ

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

問 1 1 巡回担当教員とのコミュニケーションはとれていますか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. はい 2. いいえ

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

問 1 2 実習巡回予定を把握していますか。

1. はい 2. いいえ

問 1 3 担当教員を交えた反省会・カンファレンスを実施していますか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. 実施している 2. 実施していない

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

問 1 4 介護福祉士実習指導者講習会はご自身のキャリアアップになりましたか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. はい 2. いいえ

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

問 15 所属事業者の職員教育（新人教育等）に役立ちましたか。該当する番号に○を付けその理由をお書きください。

1. はい 2. いいえ

選択した理由（現状）を具体的にお書きください。

.....

.....

.....

問 16 実習生（者）に対して介護の仕事の魅力ややりがいを伝えることができましたか。該当する番号に○を付けてください。

1. はい 2. いいえ

「1. はい」を選択した方はどのようなことを伝えられましたか。また、どのような工夫をしましたか。

.....

.....

.....

問 17 実習指導者として課題や悩み不安等があればご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....



ご協力ありがとうございました



調 査 票

養成校学生用

問 1 施設実習の経験はありますか。また、ある場合は何回ありますか。該当する番号に○を付けてください。

1. 施設実習の経験あり () 回目 (H29.10月現在)
2. 施設実習の経験なし

問 2 施設実習先の種別について、該当する番号に○を付けてください。

1. 老人福祉施設
2. 障がい者支援施設
3. 児童福祉施設
4. その他 ()

問 3 施設実習終了後、事後学習は定例に行われていましたか。

1. はい
2. いいえ

問 4 施設実習スケジュール(実習予定表)はありましたか。

1. はい
2. いいえ

問 5 当日の指導担当者は決まっていたか。

1. はい
2. いいえ

問 6 指導担当者に質問ができましたか。

1. はい
2. いいえ

「2. いいえ」を選択した方はどのような理由からですか。

問 7 指導担当者は質問に的確に応えてくれましたか。

1. はい
2. いいえ

「2. いいえ」を選択した方はどのような理由からですか。

問8 実習指導担当者の指導に満足していますか。

1. はい 2. いいえ

「2. いいえ」を選択した方はどのような理由からですか。

問9 振り返りの時間は十分でしたか。

1. はい 2. いいえ

問10 記録のコメントは誰からコメントしてほしいですか。

1. 実習指導者 2. 当日の担当職員

問11 記録のコメントは実習内容についての的確なものでしたか。

1. はい 2. いいえ

「2. いいえ」を選択した方はどのような理由からですか。

問12 実習記録の返却は何日後を望みますか。

1. 翌日 2. 1週間 3. その他()

問13 実習中に困ったことがありましたか。(自由記述)

問14 実習で望むことは何ですか。(自由記述)

問15 実習にはどのような心構えで臨んでいますか。

問16 卒業後は介護の仕事を希望していますか

1. はい 2. いいえ

「2. いいえ」を選択した方はどのような理由からですか。

問17 施設実習に対して悩み不安等があればご記入ください。



ご協力ありがとうございました

